

Gen3™ PEAK elevator

A platform for possibility

フラットベルト式
乗用／住宅用／非常用エレベーター

OTIS



A FULLY CONNECTED PLATFORM



A platform for possibility

限らない可能性の追求

あらゆるものがつながるデジタル社会。住む、働く、遊ぶ場面で便利、簡単、新たな楽しさなどをもたらします。エレベーターもネットワークにつながることで、これまでにない乗り方や利用方法などを提供します。Gen3™ PEAKエレベーターはオチスがエレベーター業界のパイオニアとして生み出した、デジタル社会に適応した次世代エレベーターです。

Gen3™ PEAKエレベーターは、ネットワークに常時接続されたIoTデジタルプラットフォームを兼ね備えたことで、機能性、信頼性を更に向上させ、利用者、管理者、オーナーの方へ新たな体感をお届けします。



EXPERIENCES. (つながる) **ADVANCED.**

最新のコネクテッドテクノロジーにより、リアルタイムでエレベーターの利用状況の確認、ロボットとの接続や、スマートフォンでエレベーターを呼ぶ事などが可能です。「つながる」を実現します。



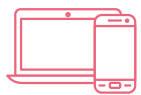
RELIABILITY. (信頼性) **ADVANCED.**

突然の災害や非常時にも対応できるエレベーター設計としています。



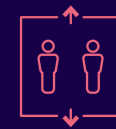
HEALTH & SAFETY. (安全・快適) **ADVANCED.**

Gen3™ PEAKエレベーターはすべての利用者へ、安全で快適な空間を提供します。



SERVICE. (サービス) **ADVANCED.**

Otis ONE™ サービスは、お客様は常にリアルタイムの情報を確認でき、当社のサービスエンジニアはより精度の高い予防保全が可能になります。



PEOPLE FIRST (人にやさしい)

Gen3™ PEAKエレベーターは、ご利用者・管理者・オーナーの方々を中心に考えられた新たな使用方法、イノベティブなソリューションを提供します。



READY FOR WHAT'S NEXT (先進性)

Otis ONE™ サービスは、さまざまなIoT機器や他のデジタルプラットフォームと容易につながります。



EFFICIENCY ALWAYS (エコロジー)

Gen3™ PEAKエレベーターは、エネルギー効率が高く、二酸化炭素排出量の削減に寄与します。

Reliability. Advanced.

信頼性の向上

地震時自動診断・復旧システム、パルスシステム、クラウン効果等により信頼性、安全性をさらに追求しました。

+ 地震時自動診断・復旧システム※

震度4相当以上の地震の場合、地震時管制運転の完了後、エレベーターが自動診断運転を実施。自動診断の結果、異常が検知されなければ、サービスエンジニアによる点検・復旧を待たずに、仮復旧運転でご利用いただけます。更に高震度での自動診断・仮復旧運転が可能になりました。（有償付加仕様）

+ パルスシステム（フラットベルト検査装置）※

フラットベルト内の素線に通電することで継続的に電気抵抗値を測定し、疲労・断線などの状態をLEDの点滅状態により確認できます。さらに Otis ONE™ サービスを組み合わせることで、OTISLINE®（コールセンター）がフラットベルトを24時間365日監視します。

+ クラウン効果

地震の揺れによりフラットベルトの位置が動いた場合でも綱車中央部へ自動的にフラットベルトが戻り、フラットベルト外れ防止に効果があります。

+ 水害対策

巻上機や制御盤が昇降路の上部に配置されているため、万一の冠水時にも機器の破損を最小限に抑えられます。

+ 停電時管制運転

停電時にはバッテリー運転に切り替わります。エレベーターは最寄階まで走行し、ご利用者は安全に降車できます。

地震が発生したら…

管理者はパソコンやタブレットにてリアルタイムにエレベーターの復旧状況等をご確認いただけます。



エレベーターに閉じ込められたら…

エレベーター内の非常呼びボタンを押すと OTISLINE®（コールセンター）のオペレーターとディスプレイ越しに対話することが出来、乗客の不安を和らげます。



Health & safety. Advanced.

より安全に、より快適に

乗客の安全と従業員の安全は私たちが最も大切にしていることです。私たちは安全を守るために妥協することはありません。Gen3™ PEAKエレベーターにおいてもすべての乗客が安心安全に利用できるエレベーターとして設計されています。ナノイーX発生装置やタッチレスボタン等、Gen3™ PEAKエレベーターにはスムーズで快適な乗り心地を実現するための設備が備わっています。

+

タッチレスボタン 有償付加仕様

赤外線センサー付きボタンによりボタンに触れることなく乗場呼び登録、行先階登録が可能です。

+

ナノイーX発生装置 有償付加仕様

エレベーターの天井裏に、ナノイーX発生装置を設置し送風機と合わせて使用します。

+

Compass® 360システム 有償付加仕様

Compass® 360 行先階運行管理システムは、スマートディスパッチにより人々のシームレスな移動を可能にし、エレベーター内やロビーで待機する人々の数を適正化、運行効率の向上をはかります。

Otis ONE™ service

Otis ONE™サービスは、リアルタイムにエレベーターデータを収集し、新たな価値を創造するIoTプラットフォームを用いたサービスです。常時遠隔監視を行うとともに、遠隔診断機能により、エレベーターを自動診断致します。また、カスタマーポータルを通じて、エレベーターの状況を視覚的に確認することができます。

+ 遠隔監視・診断サービス

エレベーターを見守りながらサービスエンジニアの定期点検に加え遠隔で点検し、常時見守るホームドクターです。

● 遠隔リアルタイム監視・通話

エレベーターを24時間365日体制で監視し、エレベーターとOTISLINE®（コールセンター）をインターネット回線で結びオペレーターと直接通話を可能にします。また故障発生の前に異常信号をキャッチします。

● 遠隔点検診断

毎月、利用者の少ない時間帯に遠隔制御でエレベーターを自動診断します。遠隔診断で収集したデータはトラブルの予知予防や定期的な訪問点検の際のメンテナンスに活用します。エレベーターを作業停止せずに診断できるためご利用者様にご迷惑をかけません。

+ 遠隔修理・設定変更サービス

遠隔技術者は、IoTデータにより故障の原因を診断・分析し、サービスエンジニアの派遣や到着後の修理指示をすることで、エレベーターの停止時間を大幅に削減します。

+ 遠隔救出サービス

万一の閉じ込め故障の際、遠隔操作を行うことにより、サービスエンジニアの到着前に利用者の救出を図ります。

※ インターネット回線のトラブル、安全装置の作動等により遠隔救出できない場合があります。
※ オプション契約となります。

+ 災害サービス

地震によるエレベーターの休止・復旧状況をSMS/e-mailで自動配信致します。また浸水の恐れがある場合、お客様からのご依頼により、遠隔操作でかごの待機階を変更致します。

+ 情報配信サービス

万一のトラブルでエレベーターが故障停止した際はSMS/e-mailでお知らせ致します。その後、復旧のお知らせも行います。

+ カスタマーポータル

お客様のエレベーターの運転状態をパソコンやモバイルデバイスから専用のウェブポータルにてご確認ください。エレベーターの故障停止状態や地震による休止状態をいつでもどこからでもご確認ください。また、点検作業履歴や遠隔診断レポートもご覧いただけるサービスです。

GHG^{※1} Reduction

温室効果ガス削減への取り組み

オチスでは温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。Gen3™エレベーターをはじめ、オチスでは電気3輪スクーターやハイブリッドカーの導入、デジタル化による不要なサービス訪問の削減、工場やその他の施設での再生可能エネルギーの利用拡大など、様々な取り組みを行っています。



Gen3™ エレベーター

Gen3™エレベーターは回生電力にて消費電力を削減するRegen®ドライブや完全給油不要のシステムを採用しています。



業務車両

二酸化炭素排出の少ないハイブリッド車や軽自動車への切り替え、EVバイクを全国の拠点に導入する取り組みを進めています。



オフィスの最適化

サテライトオフィスや在宅勤務等、多様な働き方を推進するとともに、オフィススペースを最適化。その結果、オフィス全体のGHG排出量を9%削減しました^{※2}。



太陽光発電

芝山事業所に太陽光パネルを拡張設置致しました。事業所全体の年間電力量の約2割を太陽光発電でまかなうことが可能になりました^{※2}。

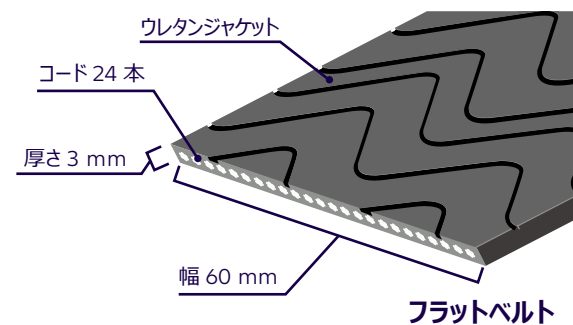
※1 温室効果ガス
※2 当社調べ

Features

+ フラットベルト

エレベーターに求められる課題を解決するために生まれたのが、従来のワイヤーロープに代わる「フラットベルト」です。ワイヤーロープでは必要不可欠だったオイルが不要になりました。また、フラットベルトは耐久性、屈曲性に優れ、従来のワイヤーロープに比べ約2倍※の長寿命です。

※ 当社内の試験基準で実施し比較した結果。エレベーターの設置環境や使用状況により異なります。



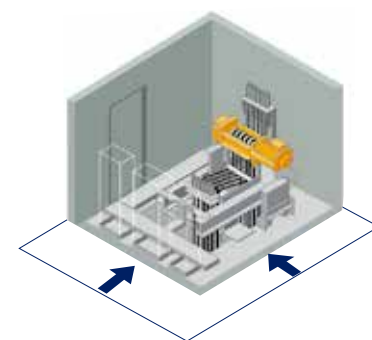
+ ペンシル型巻上機

フラットベルトの採用により、巻上機の小型軽量化が可能になりました。さらに密閉式ベアリングの採用でグリースの補給も不要となり、省資源で環境に配慮した製品を実現しました。

+ 完全給油不要

給油不要のフラットベルトに加え、コンパクトローラーガイドと HDPE ※を使用したガバナーロープにより、完全給油不要のエレベーターとして生まれ変わりました。

※ high-density polyethylene（高密度ポリエチレン）



+ 省スペース機械室

ペンシル型巻上機の採用で機械室面積を削減。設計のレイアウトがしやすく、スペースを有効に使うことができ、機械室製作の省スペース化が図れます。

+ 地震時自動診断・復旧システム

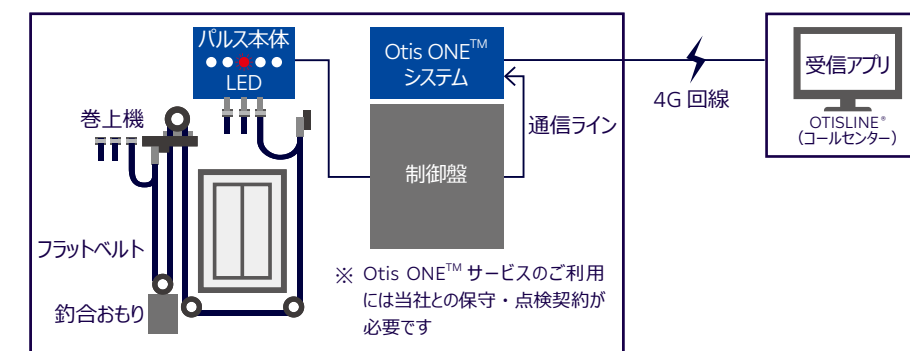
震度 4 相当以上の地震の場合、地震時管制運転の完了後、エレベーターが自動診断運転を実施。自動診断の結果、異常が検知されなければ、サービスエンジニアによる点検・復旧を待たずに、仮復旧運転でご利用いただけます。

	震度4相当	震度5弱相当	震度5強相当
地震時自動診断・復旧システム有の場合	地震時管制運転 (最寄り階停止)	80Gal 地震時 自動診断・復旧運転 (仮復旧運転)	120Gal 運転休止 (エンジニアによる復旧)
地震時自動診断・復旧システム無の場合	地震時管制運転 (最寄り階停止)	運転休止 (エンジニアによる復旧)	

※ 一定以上の揺れを検知した場合や、かご内に乗客がいる場合などは自動診断運転は実施しません。
 ※ 異常、安全装置の作動、他の管制運転と重複した場合は自動診断運転を中止します。
 ※ 自動診断運転の稼働には弊社との保守契約が必要となります。
 ※ 遠隔監視システム接続後有効となります。
 ※ 仮復旧の可否の判断のための自動診断運転中に機器損傷の可能性があります。

+ パルスシステム（フラットベルト検査装置）

パルスシステムは、フラットベルト内の素線に通電することで継続的に電気抵抗値を測定し、疲労・断線などの状態を LED の点滅により表示します。さらに Otis ONE™ サービスを組み合わせることで、OTISLINE®（コールセンター）がフラットベルトを 24 時間 365 日監視します。



+ クラウン効果

フラットベルトの綱車は中央部と両端部に直径差があり回転中に速度差が生じます。この回転速度差により、エレベーターの揺れ等によりベルト位置が動いた場合でも速度の速い中央部へ自動的にベルトが戻り、地震等の際にベルト外れの故障の抑止効果があります。この速度の速い中央部へ自動的にベルトが戻ることを「クラウン効果」と呼びます。

フラットベルトが揺れた場合



東日本大震災および熊本地震では、フラットベルトが外れたことによる故障の通報件数 0 ※

※ フラットベルトの綱車外れ、損傷、損害件数（当社調べ）。

eView® エレベーター映像表示システム※1

ニュース、天気、日時などのインフォテイメントに加え、お客様が制作した動画や画像などのコンテンツをエレベーター内に表示することが出来ます。13.3 インチ縦型モニターを採用し、クリアで更に見やすいサイズになりました。



eView® エレベーター映像表示システムは、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに対応して作られていると、NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。



+ 双方向通信



非常呼びボタンを押すと OTISLINE®（コールセンター）のオペレーターがディスプレイに映り、よりきめ細かな乗客のケアを行います。



+ カメラ映像



エレベーター内をディスプレイに表示することもできます。見られていることを認識させ、防犯効果を高めます。

・録画機能は無い為、防犯カメラとして使用できません。

+ コンテンツ



・表示可能範囲の詳細は弊社担当営業にお問い合わせください。

分類	ファイル形式	ファイルサイズ	制約
静止画	png, jpg, jpeg	70MB 以下	解像度：制限なし（自動リサイズ）
動画	mp4	70MB 以下	フレームレート：制限なし（自動リサイズ） ビットレート：制限なし（自動リサイズ） 音声再生：対応不可
テキストバナー	—	—	文字サイズ：固定 文字数：最大 30 文字 行数：最大 2 行

+ 4 か国語表示



通常時の表示は日本語と英語、非常時の表示は日本語を含む 4 か国語でご案内（日本語と英語、中国語と韓国語を交互に表示）します。

・音声アナウンスは有償付加仕様になります。

+ インフォテイメント



最新ニュース、天気予報、日時を表示。写真付きの最新ニュース 8 本、天気予報は 1 日 3 回配信されます。

+ カスタマイズ

お客様ご自身のパソコンなどから表示画面をいつでも簡単に設定可能です。

・カスタマイズには別途事前登録が必要です。



保守契約がない場合の表示画面



ロボット連動システム（オーチス・インテグレイテッド・ディスパッチ™ システム）※2

クラウドを経由して様々なサービスロボットとエレベーターの連動を簡単に実現します。エレベーターとロボットの自由にシームレスな連動により、新しい体験・サービスが提供可能です。



Compass® 360 システム 有償付加仕様

Compass® 360 行先階運行管理システムは、スマート ディスパッチにより人々のシームレスな移動を可能にし、エレベーター内やロビーで待機する人々の数を適正化、運行効率の向上をはかります。

・設置条件により対応内容が異なります。詳細は弊社営業担当にご相談ください。



ナノイーX 発生装置 有償付加仕様

エレベーターの天井裏に、ナノイーX 発生装置を設置し送風機と合わせて使用します。

・nanoe、ナノイー及び nanoe マークは、パナソニックホールディングス株式会社の商標です。
・ナノイーX 作動時は、微量のオゾンが発生し特有の臭いがありますが、このオゾンは森林など自然な状態で存在する程度の量ですので人体への影響はありません。
・機種によっては設置出来ない場合がございます。詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。



タッチレスボタン 有償付加仕様

赤外線センサー付きボタンによりボタンに触れることなく乗場呼び登録、行先階登録が可能です。

・ボタンを押してもご利用いただけます。
・指を赤外線センサー手前約 1cm 付近まで近づけてください。

赤外線センサー



※1 ご利用には弊社とのエレベーター保守・点検契約（有償）が必要になります。条例等によりご採用いただけない場合があります。
※2 ご利用には弊社とのエレベーター保守・点検契約（有償）が必要になります。
・画像はイメージです。

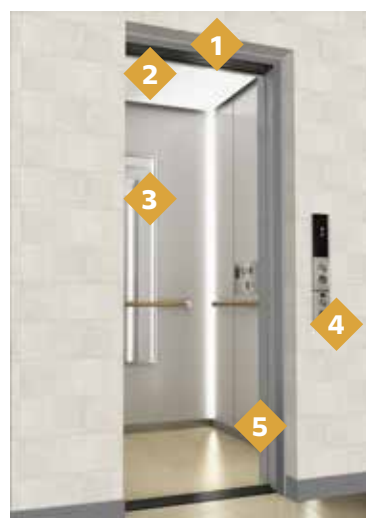
Otis Viva™ ソリューション

2050年までに
60歳以上の人口

※1
2倍

Otis Viva™ ソリューションにより、建物所有者は既存建物のエレベーターに、法規やテナントの要求を満たすアップグレードを通じて、設備の耐用年数や資産価値の維持・向上をはかります。お客様のご要望に合わせ、エレベーターをより快適な環境にできます。

Otis Viva™ ソリューションは、より多くの人の利用を考慮して開発した製品や機能で、新設物件、改修物件のいずれにも対応可能です。安全性と信頼性の高い移動環境を提供することで、自立した生活や日常的な活動をより長く継続できる環境づくりを支援します。柔軟性と拡張性を備えた Otis Viva™ ソリューションは、さまざまな建物におけるアクセシビリティ向上を可能にします。現行の法規や利用者のニーズに対応しつつ、既存設備の性能や耐用年数の維持・向上をはかり、建物の長期的な運用を支えます。



- 1 より安全な乗降**
車いす専用ボタンを利用の際にはドア開時間が延長となり安心して乗降できます
- 2 視認性の向上**
光を拡散し、明るいLED照明の天井
- 3 背面ミラー**
車いすでの乗降時に周囲の安全を確認できます
- 4 大型ボタン**
直径54mmの大型ボタンを採用。周囲が凸形状のため、視認性が高く、押しやすいデザインです
- 5 多光軸ドアセンサー**
赤外線センサーで障害物を検知するとドアをただちに開きます



- 6 Otis ONE™ サービス**
遠隔監視を行うとともに、遠隔診断機能により、エレベーターを自動診断。予防保守に繋がります
- 7 eView™ エレベーター映像表示システム**
OTISLINE®のオペレーターとの双方向ビデオ通話により、よりきめ細かな乗客のケアを行います
- 8 かご内操作盤**
点字付き、大型ボタンで操作をサポート、さらに音声アナウンスで到着階を案内します
- 9 かご内手すり**
つかまる場所があることで不安が軽減。混雑時でも安定した姿勢を保てます

※1 世界保健機関 (WHO) 「Ageing and health」より

Cab design -Ambiance-

アンビエンス

Ambiance は、かごの四隅から天井にのびる照明がかご全体にやさしい光を放ち、つつみ込むような空間を作り出します。時代を超越しながらもシンプルで且つ高級感あふれる現代的で建物と調和のとれた Ambiance を標準デザインとしてご用意しました。

シンプルモダン

SIMPLE MODERN

シンプルな無彩色の空間によりシャープでモダンな印象を与えると同時に、広がりを感じさせるデザイン。閉塞感が軽減され、リラックスして乗車できます。



アーバンシック

URBAN CHIC

ダークカラーをベースに用いることで上質感と落ち着きを感じさせるデザイン。シックな中にもニュアンスのある素材を用い、落ち着きのある空間を体感できます。



ネオラックス

Neo LUX.

深い木目の自然のテクスチャーとアースカラーの床材で落ち着きを感じさせるデザイン。自然の質感とダークカラーが与える上質感がほどよくまじりあうことで安らぎの空間を体感できます。



コンフォータブル

COMFORTABLE

住宅インテリアのトレンドに合わせた彩度の低いベージュやグレーのニュアンスカラーをベースに仕上げ、まとまりと落ち着きを感じさせるデザイン。優しく送り出し、包み込むように出迎えます。





ネオラックス
Neo LUX.



コンフォータブル
COMFORTABLE



コーディネート例①



コーディネート例②



コーディネート例③



コーディネート例④

コーディネート例	天井タイプ	天井色	かごドア・フェーシャ・かごパネル	床	操作盤	インジケーター	幅木	その他 有償付加仕様
①	アクリルフラット (RLS-5)	グレー (PF-83)	ダークウッド (PF-87)	ブラウン (FF-115)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	手すり、照明電球色、車いす専用操作盤
②	アクリルフラット (PGS-2)	ホワイト (PF-81)	ラインウッド (PF-85)	グレー (FF-114)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	手すり、照明電球色、車いす専用操作盤

コーディネート例	天井タイプ	天井色	かごドア・フェーシャ・かごパネル	床	操作盤	インジケーター	幅木	その他 有償付加仕様
③	アクリルフラット (PGS-2)	ホワイト (PF-81)	オークウッド (PF-86)	グレー (FF-114)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	手すり、照明電球色、車いす専用操作盤
④	アクリルフラット (PGS-2)	ホワイト (PF-81)	グレー (PF-83)	ブラウン (FF-115)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	手すり、照明電球色、車いす専用操作盤

・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・画像はイメージです。



コーディネート例⑤



コーディネート例⑥



コーディネート例⑦



コーディネート例⑧

コーディネート例	天井タイプ	天井色	かごドア・フェーシャ・かごパネル	床	操作盤	インジケーター	幅木	その他 有償付加仕様
⑤	アクリルフラット (RLS-5)	ホワイト (PF-81)	ストーングレー (PF-84)	ゼブラブラック (FF-113)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	手すり 車いす専用操作盤
⑥	アクリルフラット (PGS-2)	ホワイト (PF-81)	ライトグレー (PF-82)	ゼブラブラック (FF-113)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	手すり 車いす専用操作盤

コーディネート例	天井タイプ	天井色	かごドア・フェーシャ・かごパネル	床	操作盤	インジケーター	幅木	その他 有償付加仕様
⑦	アクリルフラット (RLS-5)	ホワイト (PF-81)	ホワイト (PF-81)	クラシックサンド (FF-110)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	手すり 車いす専用操作盤
⑧	アクリルフラット (PGS-2)	グレー (PF-83)	サテンブラック (PF-88)	ゼブラブラック (FF-113)	袖壁一体型	eView® エレベーター映像表示システム	軟質ビニル樹脂	—

・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・画像はイメージです。

かご内操作盤

たて型

袖壁一体(分離)型
組み合わせ例



よこ型 ※1

車いす用 有償付加仕様
組み合わせ例



独立型 選択可能仕様
組み合わせ例



かご内操作盤組み合わせ例

かご内操作盤		No.	インジケータタイプ		プレートタイプ		ボタンタイプ ※ 4		
袖壁一体 (分離) 型	たて型	①	eView [®] エレベーター映像表示システム		アルミステンレス調仕上		標準ボタン ※ 5		
		②	ドットマトリックス	選択可能仕様	ステンレスヘアライン仕上		有償付加仕様	タッチレスボタン	有償付加仕様
		③	液晶タイプ 1 ※ 3	有償付加仕様	ステンレスヘアライン仕上			SB ボタン	
		④	液晶タイプ 2 ※ 3		ステンレスヘアライン仕上			LB ボタン ※ 5	
袖壁一体型 (非常用) ※ 2	独立型 選択可能仕様	⑤	eView [®] エレベーター映像表示システム		ステンレスヘアライン仕上		標準ボタン ※ 5		
独立型 選択可能仕様		⑥	eView [®] エレベーター映像表示システム		アルミステンレス調仕上		標準ボタン ※ 5		
		⑦	ドットマトリックス		ステンレスヘアライン仕上		有償付加仕様	タッチレスボタン	有償付加仕様
		⑧	液晶タイプ 1 ※ 3	有償付加仕様	ステンレスヘアライン仕上			SB ボタン	
		⑨	液晶タイプ 2 ※ 3		ステンレスヘアライン仕上			LB ボタン ※ 5	
車いす用 有償付加仕様	よこ型	⑩	ドットマトリックス		アルミステンレス調仕上		標準ボタン ※ 5		
		⑪	ドットマトリックス		ステンレスヘアライン仕上		有償付加仕様	タッチレスボタン	有償付加仕様
		⑫	ドットマトリックス		ステンレスヘアライン仕上			SB ボタン	
		⑬	ドットマトリックス		ステンレスヘアライン仕上			LB ボタン ※ 5	

※1 車いす仕様の場合は身障者国際シンボルマークが付きます。車いす副操作盤はインジケータが付きません
※2 リアカウンターの場合のみ対応可能です。
※3 かご内操作盤が液晶インジケーターの場合でも車いす操作盤のインジケータはドットマトリックスタイプになります。
※4 ボタンタイプによって対応できる操作盤や停止数などが異なります。
※5 抗菌仕様は無機抗菌剤を練り込んだ素材を採用し、従来の製品に比べ細菌の増殖割合が100分の1以下の抗菌効果があります。(当社比)
・点字板は有償付加仕様になります。
・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・画像はイメージです。

天井タイプ

	乗用	住宅用
Standard	 アクリルフラット (PGS-2) かご内法高さ 2300 mm	 アクリルフラット (RLS-5) かご内法高さ 2300 mm
Deluxe 有償付加仕様	 ダウンライト (PGX-7) かご内法高さ 2300 mm 中央部：サテンブラック (PF-88)	 ダウンライト (RLS-4S) かご内法高さ 2300 mm  (Style 9人乗りの場合)  (Style 13人乗りの場合) ダウンライト (RLS-4) かご内法高さ 2300 mm
Super Deluxe 有償付加仕様	 スクリーンシェード (PGX-5) かご内法高さ 2250 mm	 スクリーンシェード (RGS-3) かご内法高さ 2200 mm

手すり

有償付加仕様



木製 シルバーライトオーク
(HR-WD1)



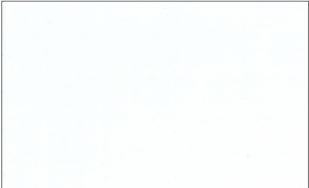
木製 AG ミディアムオーク
(HR-WD2)



ステンレス製

カラー

かごドア・フェーシャ・かごパネル（化粧鋼板）



ホワイト (PF-81)



ライトグレー (PF-82)



グレー (PF-83)



ストーングレー (PF-84)



ラインウッド (PF-85)



オークウッド (PF-86)



ダークウッド (PF-87)



サテンブラック (PF-88)

かご床タイル（ビニルタイル 厚さ：2mm）



クラシックサンド (FF-110)



グレー (FF-114)



ブラウン (FF-115)



ゼブラブラック (FF-113)

・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・画像はイメージです。

乗場コーディネート例

乗用



コーディネート例①



コーディネート例②

非常用



コーディネート例③

住宅用



コーディネート例④

	コーディネート例①	コーディネート例②	コーディネート例③	コーディネート例④
三方枠	小枠	大枠 有償付加仕様	大枠（ホールボタン組込） 有償付加仕様	そで壁付枠 有償付加仕様
	鋼板塗装仕上 （EF-62 グラスグレー）	鋼板塗装仕上 （EF-61 パウダーグレー）	ステンレスヘアライン仕上 有償付加仕様	鋼板塗装仕上 （EF-64 ダークネイビー）
乗場ドア	鋼板塗装仕上 （EF-62 グラスグレー）	鋼板塗装仕上 （EF-61 パウダーグレー）	ステンレスヘアライン仕上 有償付加仕様	鋼板塗装仕上 （EF-64 ダークネイビー）
乗場操作盤	インジケーター 一体型（標準ボタン）	インジケーター分離型（標準ボタン） 有償付加仕様	車いす用一体型（標準ボタン） 有償付加仕様	車いす用一体型（標準ボタン） 有償付加仕様
その他	－	液晶インジケーター 有償付加仕様	非常用エレベーター銘板、 非常呼び戻しボタン	防犯窓（標準サイズ） 有償付加仕様
	－	防犯窓（大型サイズ） 有償付加仕様	－	

カラー

メラミン焼付塗装



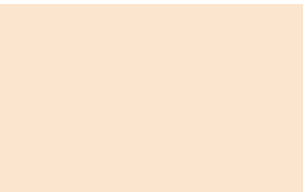
グレー（EF-57）



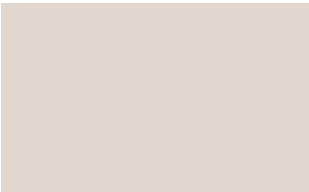
ダークグレー（EF-58）



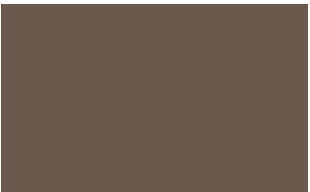
チャコールブラック（EF-59）



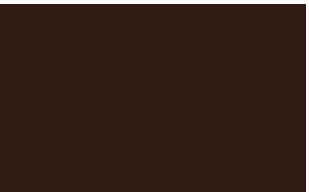
ホワイトクリーム（EF-60）



パウダーグレー（EF-61）



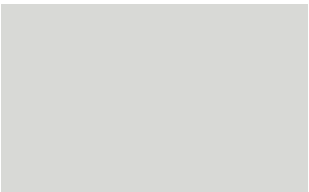
グラスグレー（EF-62）



ダークブラウン（EF-63）



ダークネイビー（EF-64）



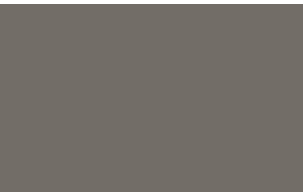
グレーホワイト（EF-65）



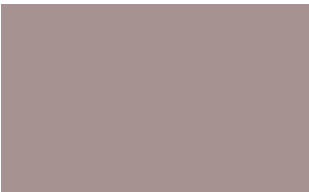
アゲートグレー（EF-66）



メタリックスカイ（EF-M04）
有償付加仕様



メタリックブラウン（EF-M06）
有償付加仕様

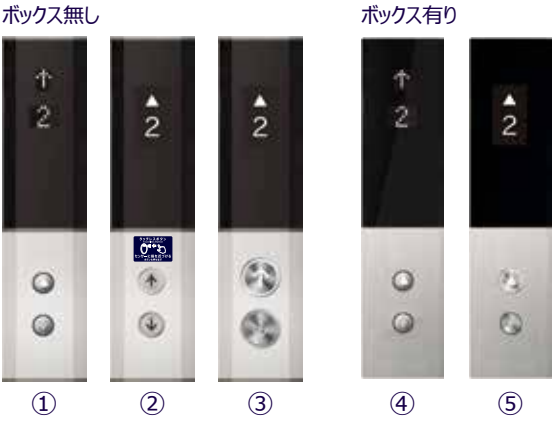


メタリックラベンダー（EF-M12）
有償付加仕様

・印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・画像はイメージです。

乗場操作盤

インジケータ－体型ホールボタン



インジケータ－分離型ホールボタン



インジケータ－体型ホールボタン車いすボタン付



車いす専用ホールボタン



乗場操作盤	No.	インジケータタイプ	プレートタイプ	ボタンタイプ	ボックス
インジケータ ー 一体型 ホールボタン	①	ドットマトリックス	ステンレスヘアライン仕上（SUS430 t1.0）	標準ボタン	無し
	②	液晶タイプ 2		タッチレスボタン 有償付加仕様	
	③			LB ボタン ※ 2 有償付加仕様	
	④	ドットマトリックス	ステンレスヘアライン仕上（SUS304 t3.0）	標準ボタン	有り
	⑤	液晶タイプ 2	有償付加仕様	SB ボタン ※ 2 有償付加仕様	
インジケータ 分離型 ホールボタン 有償付加仕様	⑥	—	ステンレスヘアライン仕上（SUS430 t1.0）	標準ボタン	無し
	⑦	—		タッチレスボタン 有償付加仕様	
	⑧	—		LB ボタン ※ 2 有償付加仕様	
	⑨	—	ステンレスヘアライン仕上（SUS304 t3.0）	標準ボタン	有り
	⑩	—		タッチレスボタン 有償付加仕様	
	⑪	—		SB ボタン ※ 2 有償付加仕様	
インジケータ ー 一体型 ホールボタン 車いすボタン付 有償付加仕様	⑫	ドットマトリックス	ステンレスヘアライン仕上（SUS430 t1.0）	標準ボタン	無し
	⑬	液晶タイプ 2		タッチレスボタン 有償付加仕様	
	⑭			LB ボタン ※ 2 有償付加仕様	
	⑮	ドットマトリックス	ステンレスヘアライン仕上（SUS304 t3.0）	標準ボタン	有り
	⑯	液晶タイプ 2	有償付加仕様	SB ボタン ※ 2 有償付加仕様	
車いす専用 ホールボタン 有償付加仕様	⑰	—	ステンレスヘアライン仕上（SUS430 t1.0）	標準ボタン	無し
	⑱	—		タッチレスボタン 有償付加仕様	
	⑲	—		LB ボタン ※ 2 有償付加仕様	
	⑳	—	ステンレスヘアライン仕上（SUS304 t3.0）	標準ボタン	有り
	㉑	—		タッチレスボタン 有償付加仕様	
	㉒	—		SB ボタン ※ 2 有償付加仕様	

独立インジケータ－

独立型 ※ 3
よこ型



たて型



独立インジケータ－	No.	インジケータ－タイプ	プレートタイプ
独立型 ※ 2 有償付加仕様	よこ型 ㉑	液晶タイプ 1	ステンレス ヘアライン仕上 (SUS304 t3.0)
	たて型 ㉒	液晶タイプ 1	
	㉓	ドットマトリックス	
	㉔	液晶タイプ 2	

仕様サイズ	液晶タイプ 1（㉑ ㉒）	液晶タイプ 2（㉓ ㉔）
画面サイズ	6.5 インチ	4.3 インチ
解像度	640 × 480	272 × 480
表示エリアサイズ	132.48 × 99.36 mm	53.9 × 95.0 mm

ボタンタイプ



その他



※ 1 ボックス無し、プレートタイプがステンレスヘアライン仕上（SUS430 t1.0）の場合は、連結設置となります。

※ 2 ボタンプレート素材はステンレスヘアライン仕上のみとなります。

※ 3 インジケータ－分離型（乗場操作盤）と組み合わせになります。

※ 4 抗菌仕様は無機抗菌剤を練り込んだ素材を採用し、従来の製品に比べ細菌の増殖割合が100分の1以下の抗菌効果があります。（当社比）

・ 点字板は有償付加仕様になります。

・ ボタンサイズは参考値です。図面もしくはは現状と異なる場合は、図面もしくはは現状が優先となります。

・ 印刷の都合上、実際の色とは若干異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・ 画像はイメージです。

仕様一覧

○印は基本仕様 ●印は有償付加仕様

機 能		
制御方式	交流可変周波数制御PMギヤレス方式	○
運転方式	方向性乗合全自動方式	○
	2台群乗合方式	●
	3～4台群乗合方式	●
	2～8台群管理方式	●
	分散待機機能	●
	相対システム指数による呼び割り当て機能	●
	ファジー制御機能	●
	AI学習・推論機能	●
	出勤時特急分割サービス機能 ※1 ※2	●
	運転手付運転	●
	専用運転	●
	非常用エレベーターとの群乗合運転	●
戸形式	Compass 360（行先階先行予約システム）※3	●
	2枚戸片開き（住宅用のみ）	○
	2枚戸中央開き（乗用・非常用のみ）	○
	4枚戸中央開き（乗用・非常用のみ）	●
省エネ機能	省電力運転	●
	休日運転	●
	待機時省エネ（乗場インジケータ減光）	○
	かご内照明／ファン自動休止	○
防災機能	パーキング運転（キースイッチ式、タイマー式）	●
	地震時管制運転（P波＋S波2段）リスタート機能付	○
	地震時自動診断・復旧システム ※4	○
	緊急地震速報運動運転	●
	火災時管制運転（自動※接点信号運動、手動）※5	●
	煙感知運動管制運転（防火シャッター運動）※5	●
	自家発時管制運転（自動・手動、全自動）※5	●
	停電時自動着床装置（バッテリー救出運転）※6	○
	長尺物振れ管制運転	●
安全機能	ビット冠水時管制運転	●
	管制運転表示灯＆ブザー	○
	戸開走行保護装置（UCMP）	○
	故障時最寄階自動着床機能（リカバー走行）	○
	故障エレベーター切放し（群乗合・群管理運転時）	○
	定員超過防止	○
	非常停止スイッチ	○
	戸閉（開）不具合保護（ドア繰り返し開閉機能）	○
	戸閉不能防止（JEAS）	○
	ネクストランディング機能	○
	リレベル走行	○
	機械式ドアセフティシュー	○
	片側取付	○
	両側取付（中央開き戸のみ）	●
	多光軸ドアセンサー	●
	光電式ドアセンサー（2ビーム）	●
	ドアモーションシグナル	●
	ホールバッセンジャースセンサー	●
	かご扉引き込まれ検出装置（ハンドタッチセンサー）	○
	AED専用運転	●
	昇降路出入検知（非常救出口スイッチ）	●
	煙感知器点検スイッチ	○
	乗場ドア遮煙仕様	●

機 能		
快適機能	ベット仕様	●
	液晶ディスプレイ（かご操作盤、乗場インジケータ）	●
	クーラー蒸散式（乗用17人乗以上・住宅用13人乗のみ）	●
	ナノイーX発生装置 ※7	●
	BGMスピーカー（兼非常用スピーカー）	●
防犯機能	到着チャイム（かご、乗場）	●
	防犯直通運転	●
	防犯運転（各階強制停止）	●
	防犯ボタン運動運転（最寄階停止）	●
	警報ブザー（インターホン・防犯ボタン運動）	●
	不鳴動防止タイマー（接点10秒保持）	●
	特定階サービス切放し（キースイッチ式、タイマー式）	●
	暗証コードパーソナル運転	●
	特定階強制停止	●
	不停止一時解除（解除ボタン、解除キースイッチ）	●
	セキュリティシステム	●
	防犯カメラ	●
便利機能	防犯モニター（5.6インチ・12.1インチ）	●
	ドア開閉時間自動調整	○
	特定階ドアタイム延長（最大2か所）	●
	開延長ボタン	●
	強制戸閉め	○
	かごボタン登録取り消し機能（副操作盤付は対応不可）	○
	いたずら呼び自動登録取消	○
	満員自動通過（群乗合全自動方式は基本仕様）	●
	ホームランディング	●
	出勤時サービス（3台群乗合以上）	●
	退勤時サービス（3台群乗合以上）	●
	お帰りサービス	●
	お出かけサービス	●
	反転かご呼び自動取消	○
	オートコールシステム	●
福祉機能	かご呼び優先	●
	スクロールメッセージ表示（乗場インジケータドットマトリックスタイプのみ）	○
	車いす仕様（制御、操作盤（正・副）、乗場専用ボタン、手すり2方向、鏡）	●
	視覚障がい者仕様（音声アナウンス・点字）	●
	聴覚障がい者仕様	○
	音声アナウンス	○
	かご到着チャイム	●
	かごボタン発音機能	●
	Otis ONE™ ※8	○
	フラットベルト検査装置 ※9	○
保守機能	監視盤対応	●
	インターホン	○
管理機能	無電圧A接点出力	●
	非常用エレベーター運転機能（17人乗以上）	●
その他	絶縁トランス	●
	高調波対策（ACL）	○
	前後出入口仕様 ※5 ※10	●
	人荷用対応 ※10	●
		●

※1 AI学習推論機能が必要になります。
※2 サービス階表示装置が必要になります。
※3 Compass 360（行先階先行予約システム）と併用できないオプションがあります。ご不明な点は弊社までお問い合わせください。
※4 保守・点検契約による遠隔監視システムが必要になります。
※5 非常用エレベーターは対応できません。
※6 建物状況・停止階（急行ゾーン）・仕様内容により検討が必要な場合があります。
※7 nanoe、ナノイー及びnanoeマークは、パナソニックホールディングス株式会社の商標です。
※8 サービスのご利用には弊社とのエレベーター保守・点検契約（有償）が必要になります。
※9 OTIS LINE®（コールセンター）への自動転送には弊社とのエレベーター保守・点検契約（有償）が必要になります。
※10 別途検討が必要になります。
※11 戸形式が4枚戸中央開きの場合は、ドア間口寸法で防犯窓のw寸法が変わりますのでご注意ください。

○印は基本仕様 ●印は有償付加仕様 –印は対応不可

意 匠				乗用	住宅用
かご	天井タイプ	スタンダード		○	○
		デラックス		●	●
		スーパーデラックス（乗用・天井高 +200 mm対応のみ）		●	●
		天井高さ +200 mm対応（化粧銅板は対応不可）		●	●
	かごドア	化粧銅板（かご天井高さ2300 mmのみ）		○	○
		銅板塗装仕上（標準は7分ツヤ）		●	●
		銅板化粧シート貼り仕上		●	●
		ステンレスヘアライン仕上		●	●
	かごパネル	ステンレスバイブレーション仕上		●	●
		軟質ビニル樹脂（住宅用のみ）		○	○
		ステンレスヘアライン仕上（乗用・非常用は基本仕様）		●	●
	幅木	硬質アルミ製		○	○
		ステンレス製		●	●
	床	ビニルタイル（2 mm厚）		○	○
		ラバータイル（6 mm厚）		●	●
		床落し込み（33 mm）（大理石貼仕上などの場合）		●	●
		手すり	パイプ型		●
荷摺		ステンレスヘアライン仕上（床面より 300 mm・1000 mm）		●	●
鏡	フロートガラスミラー、ステンレスミラー		●	●	
操作盤	形状	独立型（非常用は対応不可）	○	○	
		袖壁一体（分離）型	●	●	
	プレート	アルミステンレス調仕上（標準ボタンのみ対応）	○	○	
		ステンレスヘアライン仕上	●	●	
	ボタン	標準タイプ	○	○	
		タッチレスボタン、SB ボタン、LB ボタン	●	●	
	インジケーター	ドットマトリックスタイプ	○	○	
		液晶タイプ	●	●	
	その他	副操作盤	●	●	
		開延長ボタン	●	●	
その他	保護幕（磁気式）、デザイン保護幕（磁気式）		●	●	
	床マット（ゴム製）		●	●	
乗場	三方枠	形状	小枠	○	○
			広枠、そで壁付枠	－	●
			大枠、大枠幕板付	●	●
		仕上	銅板塗装仕上（標準色）（標準は7分ツヤ）	○	○
			銅板メタリック塗装仕上（標準色）（標準は7分ツヤ）	●	●
			銅板塗装仕上（指定色）	●	●
			銅板メタリック塗装仕上（指定色）	●	●
			銅板化粧シート貼り仕上	●	●
			ステンレスヘアライン仕上	●	●
			ステンレスバイブレーション仕上	●	●
	乗場ドア	銅板塗装仕上（標準色）（7分ツヤ）	○	○	
		銅板メタリック塗装仕上（標準色）（7分ツヤ）	●	●	
		銅板塗装仕上（指定色）	●	●	
		銅板メタリック塗装仕上（指定色）	●	●	
		銅板化粧シート貼り仕上	●	●	
		ステンレスヘアライン仕上	●	●	
	乗場	ステンレスヘアラインエッチング仕上	●	●	
		ステンレスバイブレーション仕上	●	●	
	敷居	硬質アルミ製	○	○	
		ステンレス製	●	●	
	その他	防犯窓 標準サイズ（200 x 700mm）、大型サイズ（200 x 1300mm）※ 11		●	●
		幕板扉面一（フラッシュタイプ）（2 枚戸中央開きタイプのみ、扉仕上、間口寸法などで対応できない場合があります。）		●	●
		扉高さ 2000 mm対応	－	●	
		扉高さ 2300 mm対応（天井高さ +200mm 対応が必要になります。）	●	●	
		4 枚戸中央開き対応	●	－	
	乗場ボタン・表示器	タイプ	インジケーター一体型	○	○
			インジケーター分離型	●	●
			車いす用一体型	●	●
		プレート	ステンレスシートヘアライン仕上	○	○
			アルミステンレス調仕上	●	●
ステンレスヘアライン仕上			●	●	
ボタン		標準タイプ	○	○	
		タッチレスボタン、SB ボタン、LB ボタン	●	●	
インジケーター		ドットマトリックスタイプ	○	○	
		液晶タイプ	●	●	
ホールランタン （チャイムは含みません）		アクリル標準品 （アクリル：w70 x h70 x d 10 程度、プレート：ステンレスヘアライン）	●	●	

非常用エレベーター計画のポイント

1 非常用エレベーターの設置を要する建築物

高さ 31 m を超える建築物に非常用エレベーターを設けないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。高さ 31 m を超える建築物には、非常用エレベーターを設けてください。建築基準法を順守してください。（建築基準法第 34 条第 2 項）ただし、以下のような場合は、設置する必要がありません。（建築基準法施行令第 129 条の 13 の 2）

- 高さ 31m を超える部分を階段室、エレベーターその他の建築設備の機械室、装飾塔、物見塔、屋窓などこれらに類する用途に使用する建築物。

2 非常用エレベーターの所要台数

●高さ 31m を超える建築物の場合、以下の条件を満たす非常用エレベーターの台数を設けていないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。高さ 31m を超える建築物には、以下の条件を満たす台数の非常用エレベーターを設けてください。建築基準法施行令を順守してください。

高さ 31m を超える部分の床面積が最大の階の床面積	非常用エレベーターの数
1,500㎡ 以下	1 台
1,500㎡ を超え、4,500㎡ 以下	2 台
4,500㎡ を超え、7,500㎡ 以下	3 台
7,500㎡ を超え、10,500㎡ 以下	4 台
更に 3,000㎡ 以内を増すごとに 1 台ずつ追加	

3 非常用エレベーターの設置場所・配置

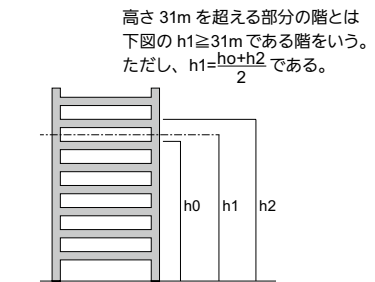
非常用エレベーターを特別避難階段の附室以外や屋外へ避難するまでの歩行距離が長い場所に設置すると、火災時の避難行動に支障をきたし重大な事故の原因となります。非常用エレベーターは、特別避難階段の附室に設置し、避難階におけるエレベーターと屋外出口までの歩行距離が 30m 以下になるように設置してください。（建築基準法施行令第 129 条の 13 の 3 第 5 項）

4 非常用エレベーターの昇降路

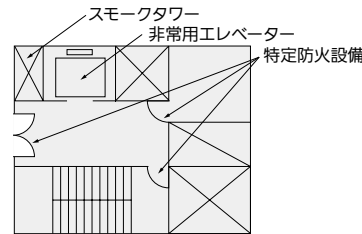
●非常用エレベーターの昇降路を耐火構造の床および壁で囲まないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。非常用エレベーターの昇降路は、非常用エレベーター 2 台以内ごとに（乗降ロビーに通ずる出入口および機械室に通ずる鋼索、電線その他のものの周囲を除き）、耐火構造の床および壁で囲んでください。建築基準法施行令を順守してください。（建築基準法施行令第 129 条の 13 の 3 第 4 項）

●非常用エレベーターの昇降路に隣接して一般エレベーターを設置する場合、非常用エレベーターと一般エレベーターの昇降路との間に耐火構造の壁を設けないと、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず、非常用エレベーターと一般エレベーターの昇降路との間に耐火構造の壁を設けてください。建築基準法施行令第 129 条の 13 の 3 第 4 項）

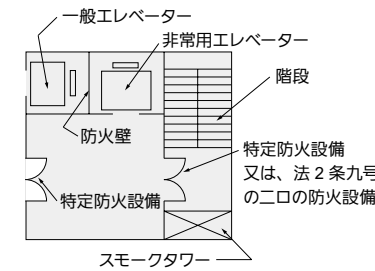
■ 高さ 31m を超える建築物の図



非常用エレベーターの間隔は、避難上および消火上有効な間隔を保ってください。建築基準法施行令を順守してください。（建築基準法施行令第 129 条の 13 の 3 第 2 項）



■ 一般エレベーターが隣接設置される非常用エレベーターの昇降路例



5 乗降ロビーの構造

以下の各階のりば条件を一つでも満たしていない非常用エレベーターを設置すると、火災時の避難行動に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず以下の条件を全て満たしたのりばにしてください。建築基準法施行令を順守してください。（建築基準法施行令第 129 条の 13 の 3 第 3 項）

- 非常用エレベーターの乗降ロビーは、各階（屋内と連絡する乗降ロビーを設けることが構造上著しく困難である階で次の㊷から㊸までのいずれかに該当するもの及び避難階を除く。）において屋内と連絡すること。
- ㊷当該階及びその直上階（当該階が、地階である場合にあっては当該階及びその直下階、最上階又は地階の最下階である場合にあっては当該階）が次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、かつ当該階の直下階（当該階が地階である場合にあっては、その直上階）において乗降ロビーが設けられている階(1)階段室、昇降機その他の建築設備の機械室その他これに類する用途に供する階
- (2)その主要構造部が不燃材料で造られた建築物その他これと同等以上に火災の発生のおそれの少ない建築物の階で、機械製作工場、不燃性の物品を保管する倉庫その他これらに

類する用途に供するもの

- ㊸当該階以上の階の床面積の合計が 500㎡ 以下の階
- ㊹避難階の直上階又は直下階
- ㊺その主要構造部が不燃材料で造られた建築物の地階（他の非常用エレベーターの乗降ロビーが設けられているものに限る。）で居室を有しないもの
- ㊻当該階の床面積に応じ、次の表に定める数の他の非常用エレベーターの乗降ロビーが屋内と連絡している階

	当該階の床面積	当該階で乗降ロビーが屋内と連絡している他の非常用エレベーターの数
(一)	1,500㎡ 以下の場合	1 台
(二)	1,500㎡ を超える場合	3,000㎡ 以内を増すごとに (一) の数に 1 を加えた数

- バルコニーただし、建築基準法施行令第 129 条の 13 の 3 第 13 項の規定による排煙設備でもよい。
- ロビーから屋内に通ずる出入口の戸は、火災の延焼のおそれがない常時閉鎖式、または煙感知器と連動する自動閉鎖式の、令第 123 条第 1 項第六号に規定された構造の特

6 非常用エレベーターの機械室

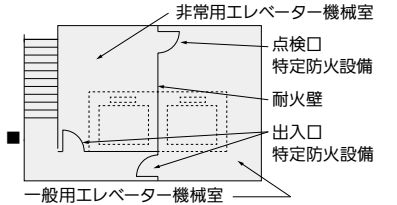
以下の条件を一つでも満たしていない非常用エレベーターの機械室を設置すると、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず、以下の条件を全て満たした非常用エレベーターの機械室を設置してください。

- 非常用エレベーターと一般エレベーターの機械室が隣接する場合は、耐火構造で区画しそれぞれに専用の出入口を設けます。

- 出入口は常時閉鎖式特定防火設備とする。
- 保守、点検上必要な場合で両機械室を区画する壁に点検口を設ける場合は常時閉鎖式特定防火設備とする。
- 非常用照明（1 時間以上点灯可能）の設備。
- 換気設備の電源は予備電源付とします。

定防火設備を設ける。

- 窓もしくは排煙設備または出入口を除き、耐火構造の床および壁で囲む構造とする。
- 天井および壁の屋内に面する部分は、不燃材で仕上げをし、かつ、その下地を不燃材料で造る。
- 予備電源を有する照明設備を設ける。
- 床面積は、消火・救出のために非常用エレベーター 1 台について 10㎡ 以上とする。
- ※短辺 2.5m 以上確保し正方形に近い形状
- ※特別避難階段の附室と兼用する場合は、上記 +5㎡ する。
- ロビーは、屋内消火栓、連結送水管の放水口、非常コンセント設備などの消火設備が設置される構造とする。
- ロビーには、見やすい場所に、積載量および最大定員のほか、非常用エレベーターである旨、避難階における避難経路、その他避難上必要な事項を明示した標識を掲示し、かつ消火作業や救出作業に使用しているときに、その旨を明示することができる表示灯その他これに類するものを設ける。



7 非常用エレベーターの電気配線工事

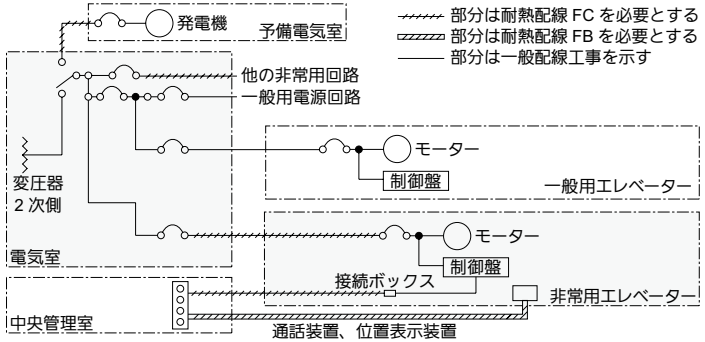
以下の条件を一つでも満たしていない非常用エレベーターの電気配線工事をする、火災時の消火作業や救出作業に支障をきたし重大な事故の原因となります。必ず以下の条件を全て満たした非常用エレベーターの電気配線工事をしてください。

- 機械室外および昇降路外の電気配線工事は以下の工事種別とする。
- 非常用エレベーターに至る電気遮断器以降の電気配線は専用とし、他の一般用電気設備と共用しない。
- 非常用エレベーターが一般エレベーターと

■ 非常用エレベーターの代表的電気配線

	機械室および昇降路により以下に至る配線	工事種別
義務づけられている配線	中央管理室の通話装置	耐熱配線工事 FB
	中央管理室のかご呼び戻す装置	耐熱配線工事 FC
	予備電源室	耐熱配線工事 FC
運転上不可欠な回路の配線	中央管理室のエレベーター運転スイッチ	耐熱配線工事 FC
	中央管理室の地震管制スイッチ	耐熱配線工事 FC
その他	位置表示装置	耐熱配線工事 FB

※耐熱配線種別については「防災設備の電源と配線に関する指針」（昭和 57 年度版建設省住宅局建築指導課、自治省消防救急隊監督）による



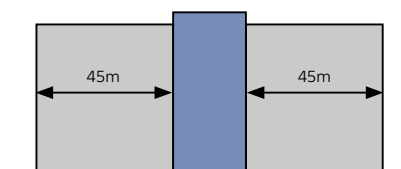
併設される場合は、それぞれ別配線とする。かご内と中央管理室（防災センター）を通過する連絡装置は、機械室とも通話できるものとしてください。※他のエレベーター通話機器とは別の、独立した専用回線としてください。

設備計画

1 建物内におけるエレベーターの位置

物の中央部にエレベーターコアを配置する。全体的に公平にエレベーターコアへ行けます。もし、ビルの端などに設置すると、反対側の人エレベーターコアまで行くのにかなりの時間がかかり、利用するのが不便

になります。経験的にエレベーターからもつともはなれた事務所または部屋までの距離を 45m 以下にすると良好なサービスを提供できます。

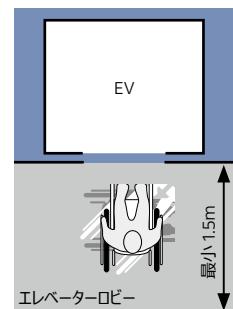


2 グループ内のエレベーター配置

エレベーターのサービスゾーンの振分けや建物内での配置と同じように重要な事項が、グループ内でのエレベーターの配置です。概して利用者の歩く距離が最小限になるように配置しなければなりません。また、グループ内の台数に限らず、次の事項を考慮しておく必要があります。

- 車いすを使用する方がいる時
車いすが回転できる広さを確保する。一

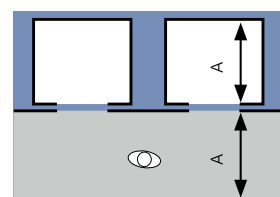
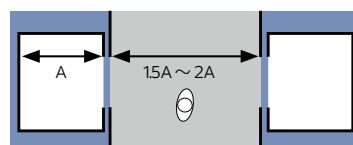
般の車いすが回転に必要な寸法は 1.5m 角です。付添人がいる場合は更に 0.6m 必要となります。



● 2 カーグループ

①隣同士に設置する。利用者は両方のエレベーターが見えるように向いているので、方向指示ランタンやかごの到着に、すぐに気づくことができ、また歩行距離も最小で済みます。また、向かい合わせで設置しても向き直るだけなので有効な計画です。2 台を離して設置するのは、どちらのエレベーターが来るのか分からず、また 1 グループとして認識しにくいのでやめるべきです。

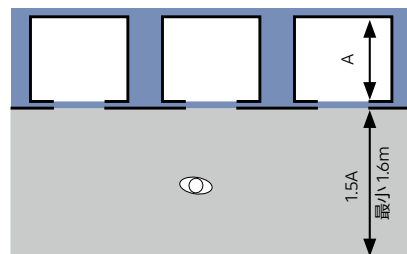
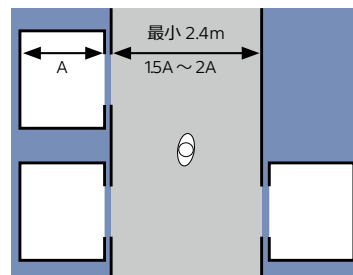
②エレベーターロビーは最低かごの奥行と同じ広さを確保する（メインフロアは更に広くする）。ロビーがあまりに狭い場合、利用者がロビーからあふれ乗込むのに時間がかかり、結果的にエレベーターの運行が遅くなります。



● 3 カーグループ

① 1 列に並べて設置する。全てのエレベーターが見えるので、方向指示ランタンやかごの到着がすぐに分かります。1 台、2 台の向かい合わせで設置すると歩行距離が短くなりますが、エレベーターに乗るために振り向く時間を考えると乗込むのに必要な時間は変わらなくなります。見た目にも 1 列のほうがよく見えます。

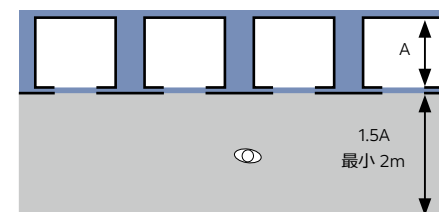
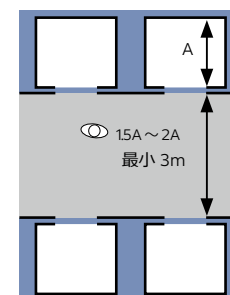
②エレベーターロビーは最低かご奥行の 1.5 倍（最小 1.6m ）確保する。利用者は 3 台の入口が見渡せる位置まで下がろうとしますので、2 台の時よりも奥行が余分に必要です。向かい合わせで設置する場合はかご奥行の 1.5 倍～ 2 倍（最小 2.4m ）必要です。



● 4 カーグループ

・2-2 台向かい合わせで設置する。利用者の歩行距離が最も短く済む配置です。横 1 列に並べる配置もありますが、端から端までエレベーターの距離が遠くなるため移動するのに時間がかかりすぎ、お勧めできません。

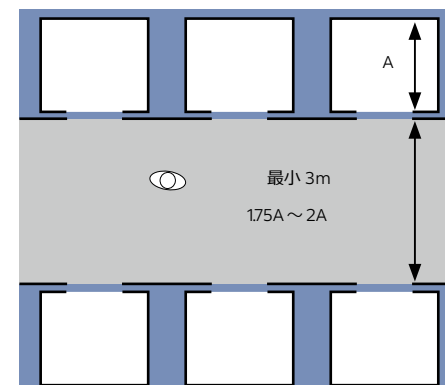
・エレベーターロビーは最低かごの奥行の 1.5 倍～ 2 倍（最小 3 m ）確保する。エレベーターロビーは全てのかごの乗客が入りできる広さが必要です。また、1 列に設置した場合は全てのホールランタンが見える広さ、かご奥行の 1.5 倍（最小 2.4m ）は必要です。



● 5・6 カーグループ

・2-3 台、3-3 台向かい合わせで設置する。利用者の歩行距離が最も短く済む配置です。横 1 列に並べると端から端までのエレベーターの距離が離れすぎます。もし、端の 2 台が同時に来て片方が満員になった場合、乗れなかった人はもう一方の端に走っていかなければならず、そこでも乗り遅れる可能性が出てきます。また、どのエレベーターが来るか分からなく、到着したことに気づかず乗り遅れる可能性も出てきます。

・エレベーターロビーは最低かごの奥行き 1.75～ 2 倍（最小 3m ）確保する。エレベーターロビーは全てのかごの乗客が入りできる広さが必要です。また、ロビーが通路としても使われる場合は最小 3.6m 必要です。

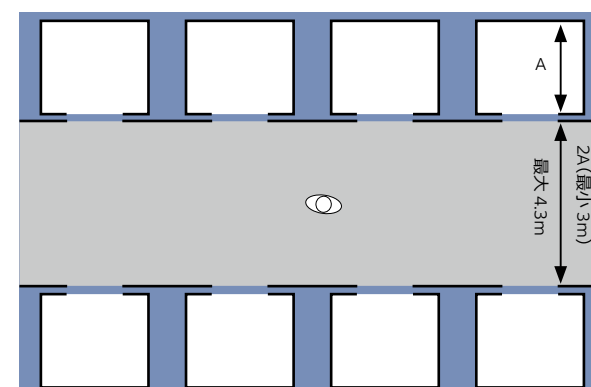


● 7・8 カーグループ

実用的に使える最大のグループ数です。

・3-4 台、4-4 台向かい合わせで設置する。利用者の歩行距離が最も短く済む配置です。横 1 列に並べると端から端までのエレベーターの距離が離れすぎます。もし、端の 3 台が同時に来て片方が満員になった場合、乗れなかった人はもう一方の端に走っていかなければならず、そこでも乗り遅れる可能性が出てきます。

・エレベーターロビーは最低かごの奥行き 2 倍（最小 3m ）確保し、なおかつ 4.3m 以内とする。エレベーターロビーには全てのかごの乗客が入りできる広さが必要です。しかし、むやみに広げすぎると歩行距離が長くなりすぎ乗り遅れる可能性が出てきます。また、1 グループとして認識できず、サービスフロアが別のエレベーターと思われる可能性が出てきます。



設備計画

3 エレベーター交通量計算

エレベーターを計画するうえで最も重要な指標は、輸送能力と待ち時間です。輸送能力はエレベーターの量的評価、待ち時間は質的評価を表し、待ち時間に関しては、便宜上エレベーターの平均運転

間隔で判断するのが一般的となっています。エレベーターの仕様・台数・サービス停止階を決定するにあたり、これらの量と質を定量的に把握する手法が交通計算であり、エレベーター乗車人数から一周に

おける停止数を想定し、一周時間と最大輸送人数を計算して、エレベーターの必要台数を算出します。

● 5 分間輸送率：
交通需要のピーク時における 5 分間に同一グループの全てのエレベーターで運び得る人数のビル収容総人数に対する割合でありエレベーターサービス水準を量的に表します。

$$5 \text{ 分間輸送率 (\%)} = \frac{1 \text{ 台当たり } 5 \text{ 分間輸送人数 (人)} \times \text{台数 (台)}}{\text{ビル収容総人数 (人)}} \times 100 (\%)$$

● 平均運転間隔：
一周時間を同一グループの全台数で割った値であり、エレベーターサービス水準を質的に表します。

$$\text{平均運転間隔 (秒)} = \frac{\text{一周時間 (秒)}}{\text{台数 (台)}}$$

● 一周時間：
かごが出発階に戻って来た時点から、出発階で乗客を乗せ、上方階をサービスして再び出発階に戻って来るまでの時間

- 一周時間 =Σ (走行時間+戸開閉時間+乗客出入時間+損失時間)
- ・ 走行時間：加速時間+定格走行時間+減速時間
 - ・ 戸開閉時間：右表参照
 - ・ 乗客出入時間：事務所ビル出勤時の出発階乗込み時間：0.8 秒/人
一般階乗降時間：te=Kr3 √fn
te= 乗客が降りる時間の合計 (秒)
fn= 予想停止数 (ヶ床)
$$fn= n \left\{ 1 - \left(\frac{n-1}{n} \right)^r \right\}$$

n= ローカル区間サービス階数 (階) (全停止階数－出発階数)
r = エレベーター 乗客数 (人) (エレベーター 1 台の定員数×乗車率)
K= 出入口幅による係数
 - ・ 損失時間：戸開閉時間や乗客出入り時間はかなりの不確定要素が含まれるので、合計時間の 10%を損失時間とする (奥の人が出る前に、手前の人が一旦降りる等の時間等)。

戸の形式と出入口幅による開閉時間 (メーカー値) と係数 K

出入口幅	2 枚両引き戸	2 枚片引き戸	係数 K
800 mm	4.2 秒	6.0 秒	1.00
900 mm	4.6 秒	—	0.95
1000 mm	5.1 秒	—	0.90
1100 mm	—	7.4 秒	0.85
1200 mm	—	8.0 秒	0.80

●判断水準 (事務所ビル・集合住宅・超高層集合住宅)

建物用途	5 分間輸送能力		平均運転間隔
事務所ビル	1 社専用ビル	20~25%	通常は下限に近い値 鉄道駅等に近い場合は上限に近い値
	準専用ビル 官公庁ビル	16~20%	通常は下限に近い値 鉄道駅等に近い場合は上限に近い値
	貸事務所ビル	11~15%	フロア貸しの時は上限に近い値をとる ルーム貸しの時は下限に近い値をとる
集合住宅	都心の集合住宅	朝：4% タ：4~6%	高級志向は上限の値をとる 実用本位は下限の値をとる
	郊外の集合住宅	タ：4%	
超高層集合住宅 (一般的に 30 階建以上)	朝：4% タ：4~6%	高級志向は上限の値をとる 実用本位は下限の値をとる	1 台の場合は 90 秒以下が望ましい 2 台以上の場合は 60 秒以下が望ましい

●計算に用いる数字 (事務所ビル・集合住宅・超高層集合住宅)

	事務所ビル	集合住宅	超高層集合住宅
ピーク形態 (ピーク時間)	アップピーク (出勤時を想定)	ダウンピーク (朝方下り想定) 2 方向ピーク (夕方を想定)	ダウンピーク (朝方下り想定) 2 方向ピーク (夕方を想定)
輸送対象人数 (エレベーター利用人数)	予め 1 フロア人数が指定されている場合、その数値を使う未定の場合は、賃貸有効面積について 8 ～ 12m ² / 人で算出。一般に、10m ² / 人として算出し、出勤率は 80%とする	予め 1 フロアの人数が指定されている場合、その数値を使う。未定の場合は、下記住戸形式別居住人数に基づいて算出 1DK,1LDK：1 人、2K：2 人、2DK,2LDK：2.5 人、3K：3 人、3DK,3LDK：3.5 人、4DK,4LDK 以上：4 人	予め 1 フロアの人数が指定されている場合、その数値を使う。未定の場合は、下記住戸形式別居住人数に基づいて算出 1DK,1LDK：1 人、2K：2 人、2DK,2LDK：2.5 人、3K：3 人、3DK,3LDK：3.5 人、4DK,4LDK 以上：4 人
乗車人数	定員の 80%	定員に関係なく昇り、降り合計で 3~6 人利用するとし、乗車比率は UP2：DN1 とする (例：5 人としたら UP3 人、DN2 人とする)	朝方 ダウンピーク時の乗車比率は UP1：DN10 (UP8%：DN80%) とする (例：UP1 人、DN7 人とする) 夕方 2 方向ピーク時の乗車比率は UP2：DN1 (UP60%：DN30%) とする (例：UP6 人、DN3 人とする)
備考	場合によっては昼食時ピーク (2 方向ピーク) の計算も行う	—	—

※「 建築と設備技術者のためのエレベーター・エスカレーター計画」技術書院より

※「 建築設計・施工のための昇降機計画指針」日本エレベータ協会 (1992 年版) より

●判断水準 (ホテル)

建物用途	5 分間輸送能力		平均運転間隔
ホテル	シティホテル	8~10%	40 秒以下を原則とし、設置台数が 2~3 台の小規模なホテルでは 60 秒以下
	リゾートホテル	12~15%	
	シティホテル+リゾートホテル	10~13%	

●計算に用いる数字 (ホテル)

	シティホテル	リゾートホテル	シティ + リゾートホテル
ホテルの特徴	客室の他、レストラン・結婚式場・展望室などを併設	観光地のホテルで団体客やグループ客が大半	シティホテルとリゾートホテルの中間的なホテル
ピーク形態 (ピーク時間)	2 方向ピーク (UP 1：DN 1) (チェックイン時、宿泊客の外出、夕方を想定)	2 方向ピーク (UP 3：DN 1) (団体客到着チェックイン時の夕方を想定)	2 方向ピーク (UP 2：DN 1) (チェックイン時、宿泊客の外出、帰館時を想定)
輸送対象人数 (エレベーター利用人数)	全宿泊客数の 80%を対象とする	全宿泊客数の 80%を対象とする	全宿泊客数の 80%を対象とする
乗車人数 (かご乗車率)	上り・下りとも定員の 50% (UP 50%：DN 50%) 小規模なビジネスホテルの場合、機能性を重視して事務所ビルと同等の 70 ～ 80% 程度としてもよい	上りは定員の 80%、 下りは定員の 27% とする (UP 80%：DN 27%)	上りは定員の 65%、 下りは定員の 33% とする (UP 65%：DN 33%)
備考	・ 4 台以上設置されるような、大規模なホテルでは、最低でも定員 17 人乗以上が望ましい ・ 基本計画段階で客室数など詳細が未決定の場合は、概略で収容人数で算出します (※ 1 参照) ・ 宴会場・レストラン等がある場合は、利用形態に合わせた計算も行う必要があります (※ 2 参照)		

※ 1 客室数=延べ床面積÷100m² (45m²)、純客室総面積=延べ床面積×0.28 (0.4)、客室面積
=純客室総面積÷客室数

・ 上式の () 内数値はビジネスホテルの場合とする。
・ 客室面積はシングルの場合 15 ～ 20m²、ツインの場合は 25～30m²とする。

※ 2 宴会場の交通量は宴会開始時と終了時に需要が集中し、通常の客用エレベーターだけで賄いきれないこともあるため、規模にもよるが宴会場専用のエレベーターやエスカレーターを設置することが望ましい。その交通需要 (ピーク) は宴会形式によっても異なり、テーブル式では宴会開始直前の 15 分前に席数の 30 ～ 40%の人が集中し、終了時には 15 分間に 90%の人が退席する。また立食形式の宴会ではピークが小さくなり、15 分間当たりの集中率は開始時・終了時いずれも 30%程度となるエレベーターとエスカレーターの配置が、いずれも利用しやすい位置にあるときは、両者の利用率をエレベーター 15%に対してエスカレーター 85%として計算を行なう。

電源設備・機械室発熱量

警告

注意

電源設備について容量を後述しますが、建屋条件により、幾分異なる場合がありますので打合せ、ご確認願います。

(1) 動力電源 AC 400 V 系〈50/60Hz〉エレベーターの滑らかな加減速及び正確な着床精度を維持させるため、電源電圧変動を±5%以内にしてください。

●アース線を含む電源線の配管・配線は制御盤内の当社指定の位置まで確実に行ってください。

●据付図面に示された位置に電源線を引き込んでください。

●アース線は、C 種としてください。

(2) 照明電源 AC 100V 〈50/60Hz〉1kVA/ 台かご内照明、機械室及び昇降路内の保守点検作業に用います。エレベーター機械室までの配管及び配線をしてください。

●他箇所の回路に影響されないように出来るだけ独立回路としてください。

(3) インターホン

かご内と外部との緊急連絡を行うために必要な装置です。エレベーター機械室又は昇降路まで

の配管及び配線をしてください。

●配線数は1台につき6本、1台増える毎に2本ずつ必要となります。

(4) 換気設備

機械室には機械室の室温が40℃を超えないよう換気装置（換気扇・ガラリ等）を設けてください。また壁面に換気装置を設けることが出来ない場合は、ダクトによる換気設備を設けてください。

(5) ビットコンセント AC 100V

エレベーター最下階床約 100mm 上（出入口側側壁）の位置に点検用コンセントを設けてください。

(6) 機械室コンセント AC 100V

エレベーターの機械室内に点検用コンセントを設けてください。

(7) 煙感知器

消防法施行規則により機械室天井に煙感知器を設けてください。

(8) 照明設備

機器の検査、管理及び保守の支障のない程度の明るさのとれる照明設備を設けてください

（非常電源付）。

(9) インターネット回線

エレベーター遠隔監視システム用として、インターネット回線へ接続が必要となります。MDF、IDF より制御盤まで LAN ケーブル用配管・配線をしてください。

電気設備系統図

（非常用エレベーターの場合は P28 もご確認ください。）

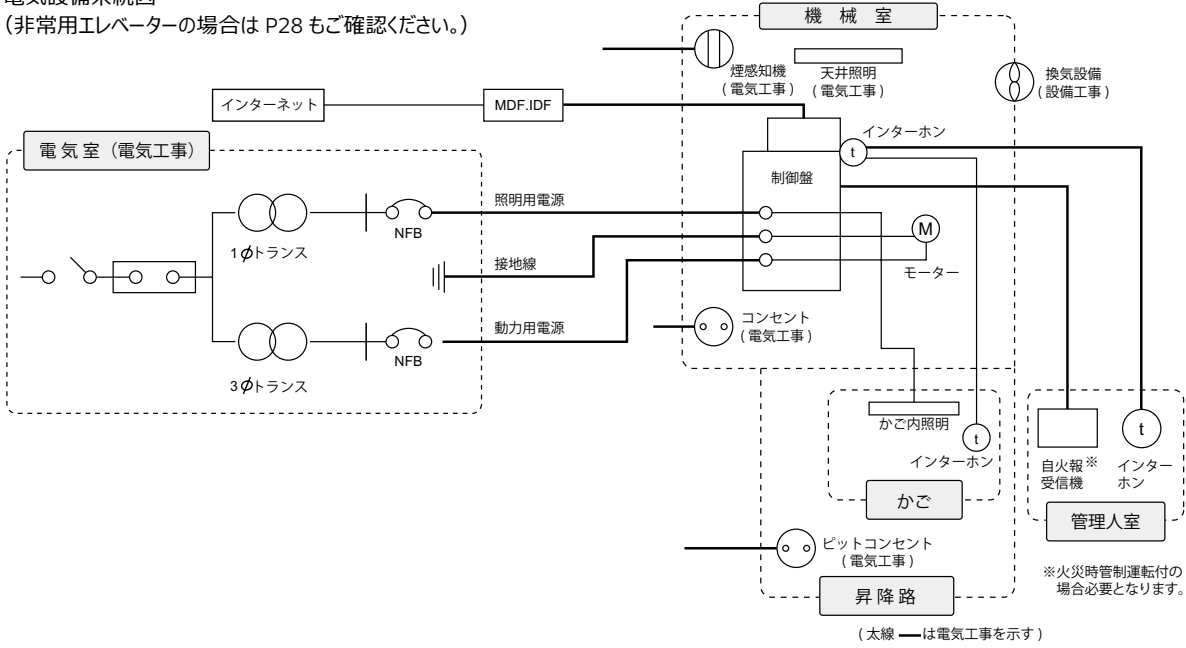


表 1 電源等一覧表 (乗用・非常用、400V 系、50/60Hz)

機種名	電動機容量 (kW)	1 台 1 回線									2 台 1 回線											機械室発熱量 (W/台)
		トランス容量 (kVA)	電源側遮断器定格 (A)	動力電源線の最大巨長 (IV/VV 線の場合) (m)						接地線サイズ (mm ²)	トランス容量 (kVA)	電源側遮断器定格 (A)	動力電源線の最大巨長 (IV/VV 線の場合) (m)						接地線サイズ (mm ²)			
				5.5mm ²	8mm ²	14mm ²	22mm ²	38mm ²	60mm ²				22mm ²	38mm ²	60mm ²	100mm ²	150mm ²	200mm ²		250mm ²		
P-11-CO.105※1	8.1	9	40	113	160	272	413	664	962	3.5	18	50	223	359	520	754	971	1137	1263	3.5	2050	
P-11-CO.120※1	9.5	11	40	-	122	207	314	505	733	3.5	22	60	-	274	397	576	742	869	965	3.5	2350	
P-11-CO.150※1	13.0	13	50	-	-	164	249	400	580	3.5	26	75	-	217	315	457	588	689	765	5.5	2950	
P-11-CO.105	8.1	10	40	-	105	178	270	434	630	3.5	20	50	147	236	342	496	638	748	830	3.5	2050	
P-11-CO.120	9.5	12	40	-	-	137	208	334	484	3.5	24	60	-	181	263	382	491	575	639	3.5	2350	
P-11-CO.150	13.0	14	50	-	-	107	162	260	377	3.5	28	75	-	142	206	298	384	450	499	5.5	2950	
P-13-CO.105	9.6	11	40	-	98	167	254	408	591	3.5	22	60	-	222	321	466	600	703	780	3.5	2450	
P-13-CO.120	11.0	13	50	-	-	128	195	313	454	3.5	27	75	-	170	247	358	461	540	600	5.5	2800	
P-13-CO.150	15.0	16	60	-	-	100	152	245	354	3.5	31	100	-	133	193	280	361	422	469	5.5	3500	
P-15-CO.105	11.0	12	40	-	-	161	244	392	568	3.5	24	60	-	213	309	448	577	676	750	3.5	2750	
P-15-CO.120	13.0	14	50	-	-	128	195	313	454	3.5	28	75	-	170	247	358	461	540	600	5.5	3150	
P-15-CO.150	18.0	17	60	-	-	-	152	245	354	3.5	33	100	-	-	193	280	361	422	469	5.5	3900	
P-17-CO.105	13.0	13	50	-	-	152	230	371	537	3.5	27	75	-	201	292	423	545	639	709	5.5	3150	
P-17-CO.120	15.0	16	60	-	-	114	173	278	403	3.5	31	100	-	152	220	319	410	481	534	5.5	3600	
P-17-CO.150	18.0	19	75	-	-	-	135	217	314	5.5	37	100	-	-	171	249	320	375	416	5.5	4500	
P-20-CO.105	15.0	15	50	-	-	141	215	345	500	3.5	29	75	-	188	272	395	508	595	661	5.5	3700	
P-20-CO.120	18.0	18	60	-	-	-	163	262	380	3.5	35	100	-	-	207	300	386	453	503	5.5	4200	
P-20-CO.150	22.0	21	75	-	-	-	127	205	297	5.5	42	125	-	-	162	235	302	354	393	8	5250	
P-24-CO.105	18.0	17	60	-	-	-	198	318	461	3.5	33	100	-	173	251	364	468	548	609	5.5	4350	
P-24-CO.120	20.0	20	75	-	-	-	158	254	368	5.5	39	125	-	-	200	291	374	438	487	8	5000	
P-24-CO.150	25.0	24	100	-	-	-	-	197	285	5.5	47	150	-	-	-	226	290	340	378	8	6250	
P-26-CO.105	20.0	18	60	-	-	-	189	303	440	3.5	36	100	-	-	239	347	447	524	582	5.5	4750	
P-26-CO.120	22.0	20	75	-	-	-	160	257	373	5.5	40	125	-	-	203	294	379	444	493	8	5450	
P-26-CO.150	28.0	24	100	-	-	-	-	199	288	5.5	48	150	-	-	-	228	293	344	382	8	6800	
P-27-CO.105	20.0	18	60	-	-	-	189	303	440	3.5	36	100	-	-	239	347	447	524	582	5.5	4900	
P-27-CO.120	22.0	20	75	-	-	-	160	257	373	5.5	40	125	-	-	203	294	379	444	493	8	5600	
P-27-CO.150	28.0	24	100	-	-	-	-	199	288	5.5	48	150	-	-	-	228	293	344	382	8	7000	

表 2 電源等一覧表 (住宅用、400V 系、50/60Hz)

機種名	電動機容量 (kW)	1 台 1 回線									2 台 1 回線											機械室発熱量 (W / 台)
		トランス容量 (kVA)	電源側遮断器定格 (A)	動力電源線の最大巨長 (IV/VV 線の場合) (m)						接地線サイズ (mm ²)	トランス容量 (kVA)	電源側遮断器定格 (A)	動力電源線の最大巨長 (IV/VV 線の場合) (m)								接地線サイズ (mm ²)	
				5.5mm ²	8mm ²	14mm ²	22mm ²	38mm ²	60mm ²				14mm ²	22mm ²	38mm ²	60mm ²	100mm ²	150mm ²	200mm ²	250mm ²		
R-9-2S.105※1	6.5	8	30	120	171	291	442	711	1030	2	16	40	157	238	383	556	806	1038	1216	1350	3.5	1650
R-9-2S.120※1	7.5	10	40	-	130	221	335	539	782	3.5	20	50	-	182	292	423	614	791	926	1028	3.5	1900
R-9-2S.150※1	9.5	12	40	-	104	176	267	430	623	3.5	23	60	-	-	233	338	491	632	740	822	3.5	2350
R-9-2S.105	6.5	9	30	99	141	240	365	586	850	2	18	50	130	197	317	460	667	859	1006	1117	3.5	1650
R-9-2S.120	7.5	11	40	-	95	162	246	396	574	3.5	21	60	-	134	215	312	452	582	682	757	3.5	1900
R-9-2S.150	9.5	13	40	-	-	127	193	311	450	3.5	25	75	-	-	169	245	355	457	536	595	5.5	2350
RT-9-2S.105※1	6.5	8	30	120	171	291	442	711	1030	2	16	40	157	238	383	556	806	1038	1216	1350	3.5	1650
RT-9-2S.120※1	7.5	10	40	-	130	221	335	539	782	3.5	20	50	-	182	292	423	614	791	926	1028	3.5	1900
RT-9-2S.150※1	9.5	12	40	-	104	176	267	430	623	3.5	23	60	-	-	233	338	491	632	740	822	3.5	2350
RT-9-2S.105	6.5	9	30	99	141	240	365	586	850	2	18	50	130	197	317	460	667	859	1006	1117	3.5	1650
RT-9-2S.120	7.5	11	40	-	95	162	246	396	574	3.5	21	60	-	134	215	312	452	582	682	757	3.5	1900
RT-9-2S.150	9.5	13	40	-	-	127	193	311	450	3.5	25	75	-	-	169	245	355	457	536	595	5.5	2350
R-13-2S.105※1	9.6	10	40	-	155	263	400	642	931	3.5	20	50	-	216	347	503	730	940	1101	1223	3.5	2350
R-13-2S.120※1	11.0	12	40	-	-	200	303	487	706	3.5	24	60	-	-	264	383	555	715	837	930	3.5	2650
R-13-2S.150※1	13.0	14	60	-	-	156	237	381	552	3.5	28	75	-	-	207	300	435	561	657	729	5.5	3300
R-13-2S.105	9.6	11	40	-	115	195	296	476	689	3.5	21	60	-	160	258	374	542	698	818	908	3.5	2350
R-13-2S.120	11.0	13	50	-	-	144	218	351	509	3.5	26	75	-	-	191	277	401	517	605	672	5.5	2650
R-13-2S.150	13.0	15	60	-	-	113	172	276	401	3.5	30	100	-	-	150	218	316	407	477	530	5.5	3300

※ 1 1:1 ローピングの場合です。ご不明な点は弊社までお問い合わせください。

標準据付図 (11～17人乗り 乗用・非常用)

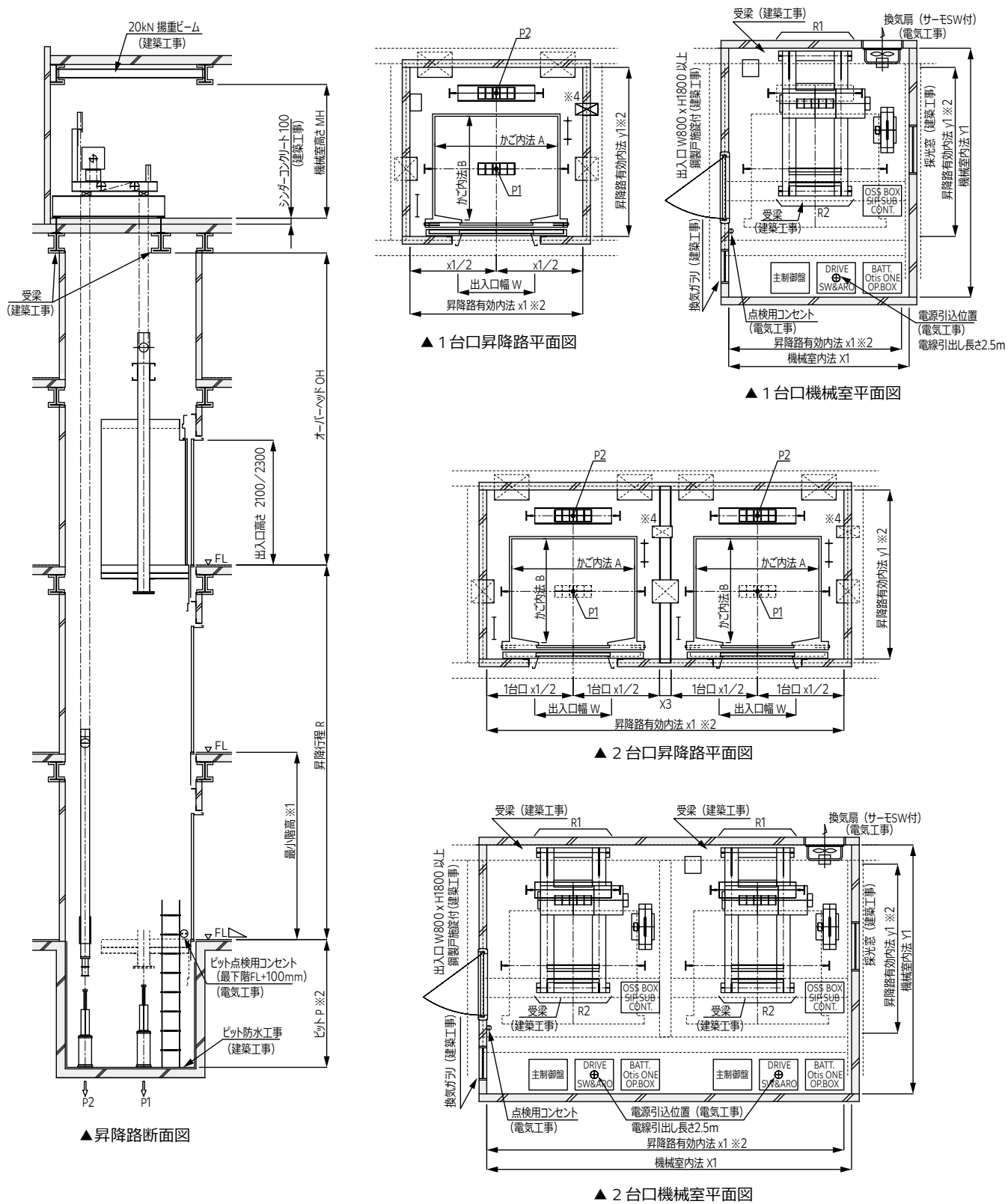


表1 最小階高 (mm)

床仕上高さ	出入口高さ	
	2100	2300
30～70 以下	2775	2975
	2755*	2955*
71～110 以下	2810	3010

非常用エレベーターは下記の基準を満たす必要があります。
(昭和 46 年建設省告示第 112 号により日本工業規格 (JIS A4301-1983) に示される形式 E-17-CO と指定されています。)

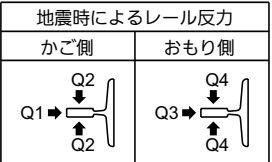
(1) 積載量 1150kg 以上 (2) 定員 17 人乗以上
(3) かがサイズ 間口 180mm 以上×奥行 1500mm 以上×高さ 230mm 以上
(4) 扉サイズ 間口 1000mm 以上×高さ 2100mm 以上

表 2 寸法等一覧 ※下記以外のかご内法の場合は別途お問い合わせください。

定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	機種名	かご内法 A × B (mm)	出入口幅 W (mm)	1 台口 (mm)		2 台口 (mm)		中間 ビーム X3 (mm)	オーバー ヘッド ※ 3 OH (mm)	ピット※ 2 P (mm)	機械室 高さ MH (mm)	最大昇降 工程 (m)					
						昇降路内法 ※ 2 x 1 × y 1	機械室内法 X1 × Y1	昇降路内法 ※ 2 x 2 × y 2	機械室内法 X2 × Y2										
11	750	105	P-11-CO.105	1400 × 1350	800	2050 × 2120	2200 × 3240	4250 × 2120	4350 × 3240	150	5250	2150	2250	150					
		120	P-11-CO.120								5250	2150							
		150	P-11-CO.150								5450	2450							
13	900	105	P-13-CO.105	1600 × 1350	900	2250 × 2120	2350 × 3240	4650 × 2120	4750 × 3240		5250	2150			2250	135			
		120	P-13-CO.120								5250	2150							
		150	P-13-CO.150								5450	2450							
15	1000	105	P-15-CO.105	1600 × 1500	900	2250 × 2270	2350 × 3320	4650 × 2270	4750 × 3320		150	5250					2150	2250	135
				1800 × 1300	1000	2450 × 2070	2550 × 3220	5050 × 2070	5150 × 3220										
		120	P-15-CO.120	1600 × 1500	900	2250 × 2270	2350 × 3320	4650 × 2270	4750 × 3320			5250					2150		
				1800 × 1300	1000	2450 × 2070	2550 × 3220	5050 × 2070	5150 × 3220										
		150	P-15-CO.150	1600 × 1500	900	2250 × 2270	2350 × 3320	4650 × 2270	4750 × 3320	5450		2450							
				1800 × 1300	1000	2450 × 2070	2550 × 3220	5050 × 2070	5150 × 3220										
17	1150	105	P-17-CO.105	1800 × 1500	1000	2450 × 2270	2550 × 3320	5050 × 2270	5150 × 3320	150	5250	2150	2250	135					
				2000 × 1300	1100	2650 × 2070	2750 × 3220	5450 × 2070	5550 × 3220										
		120	P-17-CO.120	1800 × 1500	1000	2450 × 2270	2550 × 3320	5050 × 2270	5150 × 3320		5250	2150							
				2000 × 1300	1100	2650 × 2070	2750 × 3220	5450 × 2070	5550 × 3220										
		150	P-17-CO.150	1800 × 1500	1000	2450 × 2270	2550 × 3320	5050 × 2270	5150 × 3320		5450	2450							
				2000 × 1300	1100	2550 × 2070	2750 × 3220	5450 × 2070	5550 × 3220										

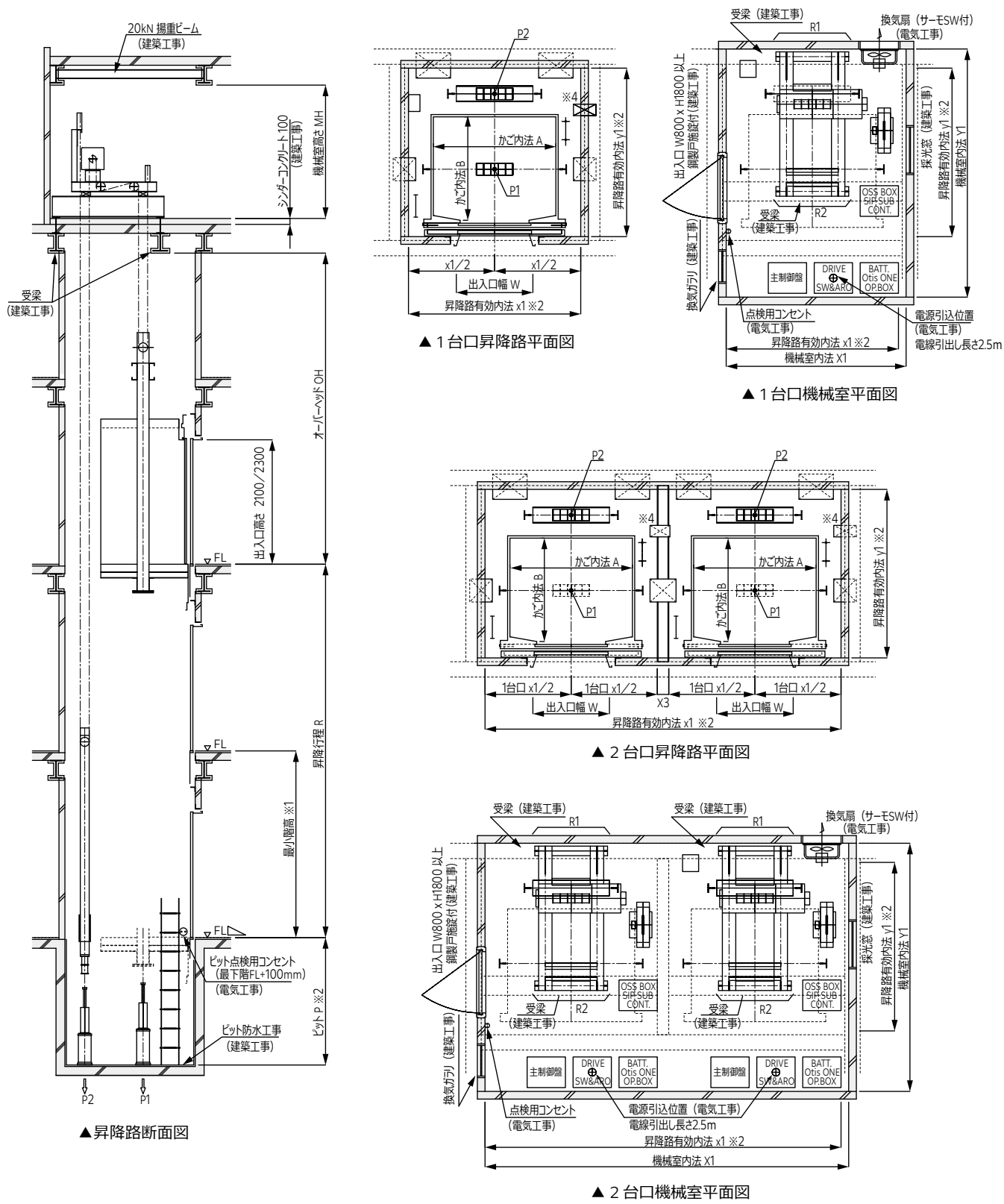
表 3 レール最大取付間隔、荷重、反力

機種名	レール最大取付間隔 (mm)		レール水平荷重 (kN)				機械室反力 (kN)		ピット部衝撃荷重 (kN)	
	かが側	おもり側	Q1	Q2	Q3	Q4	R1	R2	P1	P2
P-11-CO.105	4250	3150	8.7	4.4	12.8	6.4	69	73	145	131
P-11-CO.120	4250	3150	8.7	4.4	12.8	6.4	69	73	145	131
P-11-CO.150	4250	3150	8.7	4.4	12.8	6.4	69	73	145	131
P-13-CO.105	4250	4250	9.1	4.6	13.6	6.8	72	77	156	139
P-13-CO.120	4250	4250	9.1	4.6	13.6	6.8	72	77	156	139
P-13-CO.150	4250	4250	9.1	4.6	13.6	6.8	72	77	156	139
P-15-CO.105	4050	4250	10.1	5.1	15.0	7.5	71	88	171	151
P-15-CO.120	4050	4250	10.1	5.1	15.0	7.5	71	88	171	151
P-15-CO.150	4050	4250	10.1	5.1	15.0	7.5	71	88	171	151
P-17-CO.105	4000	4200	10.6	5.3	15.8	7.9	74	94	184	160
P-17-CO.120	4000	4200	10.6	5.3	15.8	7.9	74	94	184	160
P-17-CO.150	4000	4200	10.6	5.3	15.8	7.9	74	94	184	160



※ 1 最小階高は表 1 で確認してください。*はスペシャルブラケット使用の場合です。(有償付加仕様)
※ 2 昇降路有効内法はピット防水工事後の有効寸法です。
※ 3 出入口高さ 2300mm の場合、上記オーバーヘッド寸法に +200mm 追加となります。
※ 4 ガバナロープガイド横保護線用フラスナーは、昇降路全高(ピット + 昇降行程 + オーバーヘッド) が 10m 以上の場合に必要です。必要個数は昇降路全高 ÷ 19.5 (切上げ) です。
・ フラスナープレートはすべて t 16 以上の鋼板としてください。(鉄骨のスプライスプレートが干渉しない様にご注意ください)
・ 最大レール取付間隔を超える場合には、立柱の設置が必要となり昇降路寸法が広がる場合があります (建築工事)
・ 仕様によっては数値が変更になる場合があります。詳細は別途ご相談ください。
・ RC 構造の場合には、普通コンクリート構造 FC21 (N/mm²) 以上、壁厚は 150mm 以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。
・ 建物鉄骨構造または PC 構造の場合は別途ご相談ください。

標準据付図 (20～27人乗り 乗用・非常用)



非常用エレベーターは下記の基準を満たす必要があります。
(昭和46年建設省告示第112号により日本工業規格(JIS A4301:1983)に示される形式E-17-COと指定されています。)

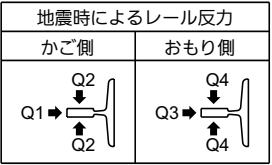
(1) 積載量 1150kg以上 (2) 定員 17人以上
(3) かがりサイズ 間口180mm以上×奥行1500mm以上×高さ230mm以上
(4) 扉サイズ 間口1000mm以上×高さ2100mm以上

表2 寸法等一覧 ※下記以外のかご内法の場合は別途お問い合わせください。

定員 (人)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	機種名	かがり内法 A×B (mm)	出入口幅 W (mm)	1 台口 (mm)		2 台口 (mm)		中間 ビーム X3 (mm)	オーバー ヘッド※3 OH (mm)	ピット※2 P (mm)	機械室 高さ MH (mm)	最大昇降 工程 (m)	
						昇降路内法※2 x1×y1	機械室内法 X1×Y1	昇降路内法※2 x2×y2	機械室内法 X2×Y2						
20	1350	105	P-20-CO.105	1800×1700	1000	2450×2470	2550×3420	5050×2470	5150×3420	150	5250	2150	2250	135	
				2000×1500	1100	2650×2270	2750×3320	5450×2270	5550×3320						
		120	P-20-CO.120	1800×1700	1000	2450×2470	2550×3420	5050×2470	5150×3420			5250			2150
				2000×1500	1100	2650×2270	2750×3320	5450×2270	5550×3320						
		150	P-20-CO.150	1800×1700	1000	2450×2470	2550×3420	5050×2470	5150×3420			5450			2450
				2000×1500	1100	2650×2270	2750×3320	5450×2270	5550×3320						
24	1600	105	P-24-CO.105	2000×1750	1100	2650×2520	2750×3440	5450×2520	5550×3440		5250	2150	2250	130	
				2150×1600		2800×2370	2900×3370	5750×2370	5850×3370						
		120	P-24-CO.120	2000×1750		2650×2520	2750×3440	5450×2520	5550×3440			5250			2150
				2150×1600		2800×2370	2900×3370	5750×2370	5850×3370						
		150	P-24-CO.150	2000×1750		2650×2520	2750×3440	5450×2520	5550×3440			5450			2450
				2150×1600		2800×2370	2900×3370	5750×2370	5850×3370						
26	1750	105	P-26-CO.105	1900×1950		2550×2720	2650×3540	5250×2720	5350×3540		5250	2150	2250	115	
				2000×1850		2650×2620	2750×3490	5450×2620	5550×3490						
		120	P-26-CO.120	1900×1950		2550×2720	2650×3540	5250×2720	5350×3540			5250			2150
				2000×1850		2650×2620	2750×3490	5450×2620	5550×3490						
		150	P-26-CO.150	1900×1950		2550×2720	2650×3540	5250×2720	5350×3540			5450			2450
				2000×1850		2650×2620	2750×3490	5450×2620	5550×3490						
27	1800	105	P-27-CO.105	1900×2000		2550×2770	2650×3570	5250×2770	5350×3570		5250	2150	2250	115	
				2100×1800		2750×2570	2850×3470	5650×2570	5750×3470						
		120	P-27-CO.120	1900×2000		2550×2770	2650×3570	5250×2770	5350×3570			5250			2150
				2100×1800		2750×2570	2850×3470	5650×2570	5750×3470						
		150	P-27-CO.150	1900×2000		2550×2770	2650×3570	5250×2770	5350×3570			5450			2450
				2100×1800		2750×2570	2850×3470	5650×2570	5750×3470						

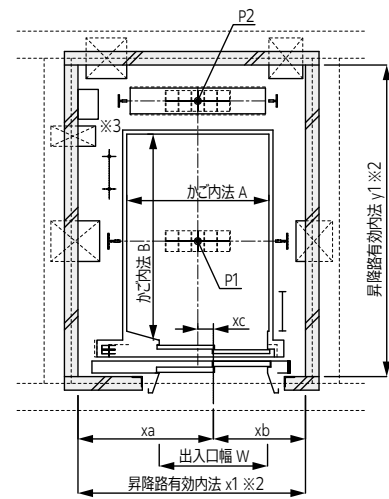
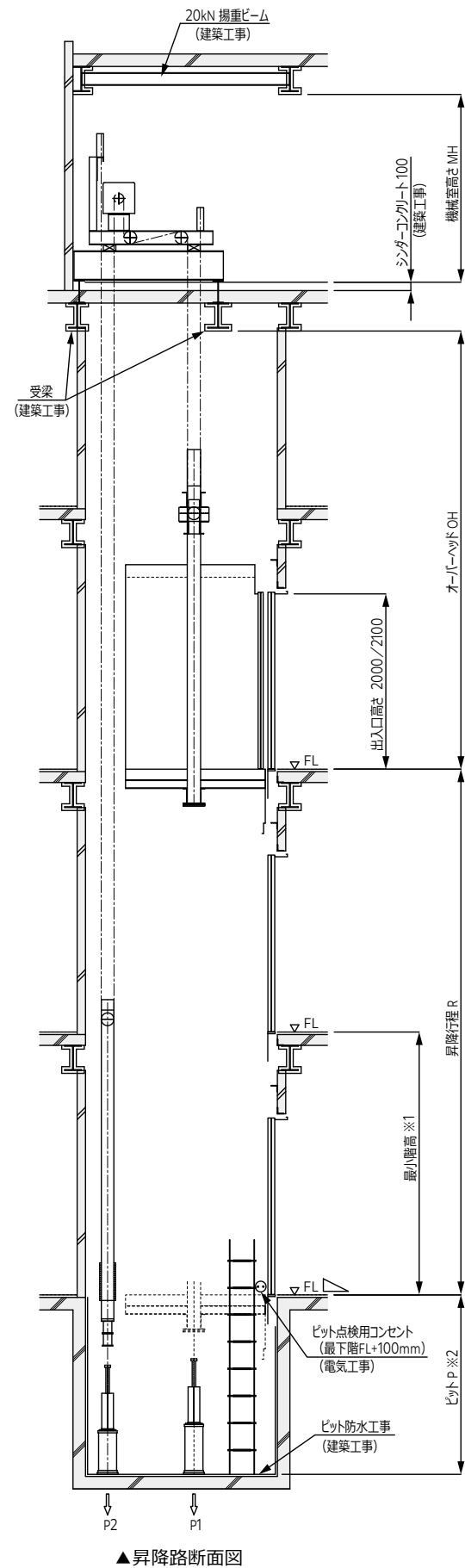
表3 レール最大取付間隔、荷重、反力

機種名	レール最大取付間隔 (mm)		レール水平荷重 (kN)				機械室反力 (kN)		ピット部衝撃荷重 (kN)	
	かがり側	おもり側	Q1	Q2	Q3	Q4	R1	R2	P1	P2
P-20-CO.105	4250	4100	11.1	5.6	16.7	8.4	107	71	199	170
P-20-CO.120	4250	4100	11.1	5.6	16.7	8.4	107	71	199	170
P-20-CO.150	4250	4100	11.1	5.6	16.7	8.4	107	71	199	170
P-24-CO.105	4250	4050	11.3	5.7	17.3	8.7	114	71	211	176
P-24-CO.120	4250	4050	11.3	5.7	17.3	8.7	114	71	211	176
P-24-CO.150	4250	4050	11.3	5.7	17.3	8.7	114	71	211	176
P-26-CO.105	4250	4050	11.0	5.5	17.1	8.6	105	76	212	173
P-26-CO.120	4250	4050	11.0	5.5	17.1	8.6	105	76	212	173
P-26-CO.150	4250	4050	11.0	5.5	17.1	8.6	105	76	212	173
P-27-CO.105	4250	4050	11.0	5.5	17.1	8.6	99	83	213	173
P-27-CO.120	4250	4050	11.0	5.5	17.1	8.6	99	83	213	173
P-27-CO.150	4250	4050	11.0	5.5	17.1	8.6	99	83	213	173

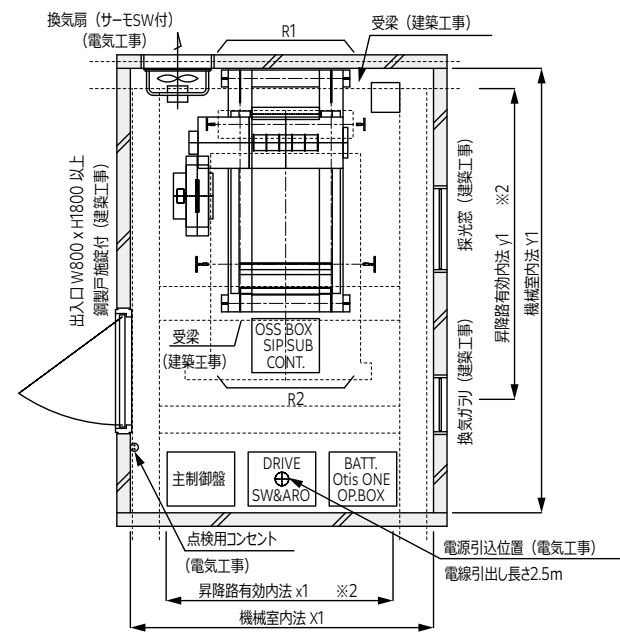


※1 最小階高は表1で確認してください。*はスペシャルブラケット使用の場合です。(有償付加仕様)
※2 昇降路有効内法はピット防水工事後の有効寸法です。
※3 出入口高さ2300mmの場合、上記オーバーヘッド寸法に+200mm追加となります。
※4 ガバナロープガイド横保護線用フラスナーは、昇降路全高(ピット+昇降行程+オーバーヘッド)が10m以上の場合に必要です。必要個数は昇降路全高÷19.5(切上げ)です。
・フラスナープレートはすべてt16以上の鋼板としてください。(鉄骨のスプライスプレートが干渉しない様にご注意ください)
・最大レール取付間隔を超える場合には、立柱の設置が必要となり昇降路寸法が広がる場合があります。(建築工事)
・仕様によっては数値が変更になる場合があります。詳細は別途ご相談ください。
・RC構造の場合には、普通コンクリート構造FC21(N/mm²)以上、壁厚は150mm以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。
・建物鉄骨構造またはPC構造の場合は別途ご相談ください。

標準据付図（住宅用 リアカウンター）



▲ 1 台口昇降路平面図



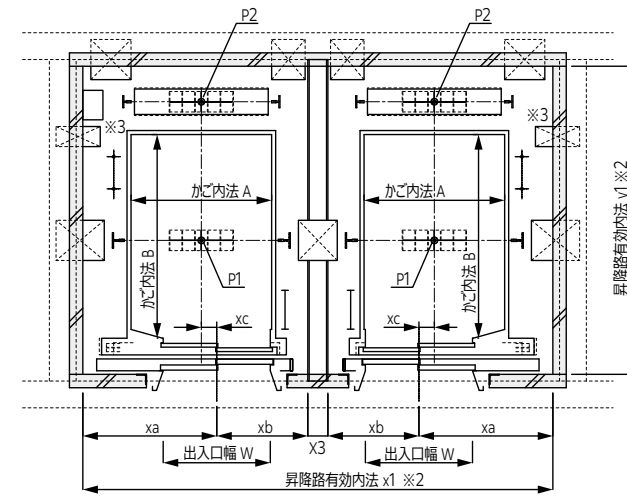
▲ 1 台口機械室平面図

表1 最小階高 (mm)

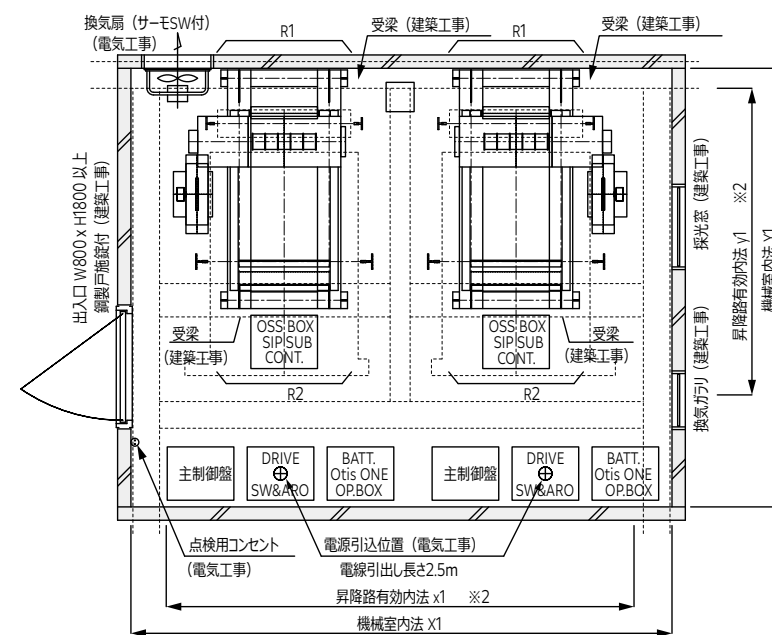
床仕上高さ	出入口高さ	
	2000	2100
30～50 以下	2745	2845
	2690*	2790*
51～110 以下	2820	2920

表2 荷重一覽

機種名	機軸至反力 (kN)		ビット部衝撃荷重 (kN)	
	R1	R2	P1	P2
R-9-2S.105				
R-9-2S.120	55	74	131	120
R-9-2S.150				
R-13-2S.105				
R-13-2S.120	77	62	143	126
R-13-2S.150				



▲ 2 台口昇降路平面図



▲ 2 台口機械室平面図

地震時によるレール反力	
かご側	おもり側

表3 レール最大取付間隔、水平荷重

機種名	レール最大取付間隔 (mm)		レール水平荷重 (kN)			
	かご側	おもり側	Q1	Q2	Q3	Q4
R-9-2S.105	4250	3250	8.0	4.0	11.7	5.9
R-9-2S.120	4250	3250	8.0	4.0	11.7	5.9
R-9-2S.150	4250	3250	8.0	4.0	11.7	5.9
R-13-2S.105	4250	3200	8.2	4.1	12.3	6.2
R-13-2S.120	4250	3200	8.2	4.1	12.3	6.2
R-13-2S.150	4250	3200	8.2	4.1	12.3	6.2

表 4 寸法一覽

定員 (人)	積載 量 (kg)	速度 (m/min)	機種名	かご内法 A × B (mm)	出入口 幅 W (mm)	1 台口 (mm)		2 台口 (mm)		中間 ビーム (mm)	出入口芯 (mm)				オーバ ヘッド OH (mm)	ピット ※ 2 P (mm)	機械室 高さ MH (mm)	最大昇降 工程 (m)
						昇降路内法※ 2 x 1 × y 1	機械室内法 X1 × Y1	昇降路内法※ 2 x 2 × y 2	機械室内法 X2 × Y2		x3	xa	xb	xc				
9	600	105	R-9-2S.105	1050 × 1520	800	1680 × 2300	2245 × 3290	3510 × 2300	4060 × 3290	150	1000	680	115	5250	2150	2250	150	
		120	R-9-2S.120											5250	2150			
		150	R-9-2S.150											5450	2450			
13	850	105	R-13-2S.105	1050 × 2000	800	1680 × 2780	2245 × 3570	3510 × 2780	4060 × 3570	150	1000	680	115	5250	2150	2250	150	
		120	R-13-2S.120											5250	2150			
		150	R-13-2S.150											5450	2450			

※1 最小階高は表1で確認してください。*はスペシャルブラケット使用の場合です。(有償付加仕様)

※ 2 昇降路有効内法はピット防水工事後の有効寸法です。

※3 ガバナロープガイド横保護線用ファスナーは、昇降路全高（ピット＋昇降行程＋オーバーヘッド）が10m 以上の場合に必要です。必要個数は昇降路全高÷19.5（切上げ）です。

・ ファスナープレートはすべて t 16 以上の銅板としてください。(鉄骨のスプライスプレートが干渉しない様にご注意ください)

- ・ 最大レール取付間隔を超える場合には、立柱の設置が必要となり昇降路寸法が広がる場合があります（建築工事）

- ・仕様によっては数値が変更になる場合があります。詳細は別途ご相談ください。

- ・ RC 構造の場合には、普通コンクリート構造 EC21 (N/mm^2) 以上、壁厚

- ・ RC 構造の場合には、普通コンクリート構造 FC21（N / mm²）以上、壁厚は 150mm 以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。
- ・ 建物が鉄骨構造または PC 構造の場合は別途ご相談ください。

- ・ 建物が鉄骨構造または PC 構造の場合は別途ご相談ください。

標準据付図（住宅用 サイドカウンター）

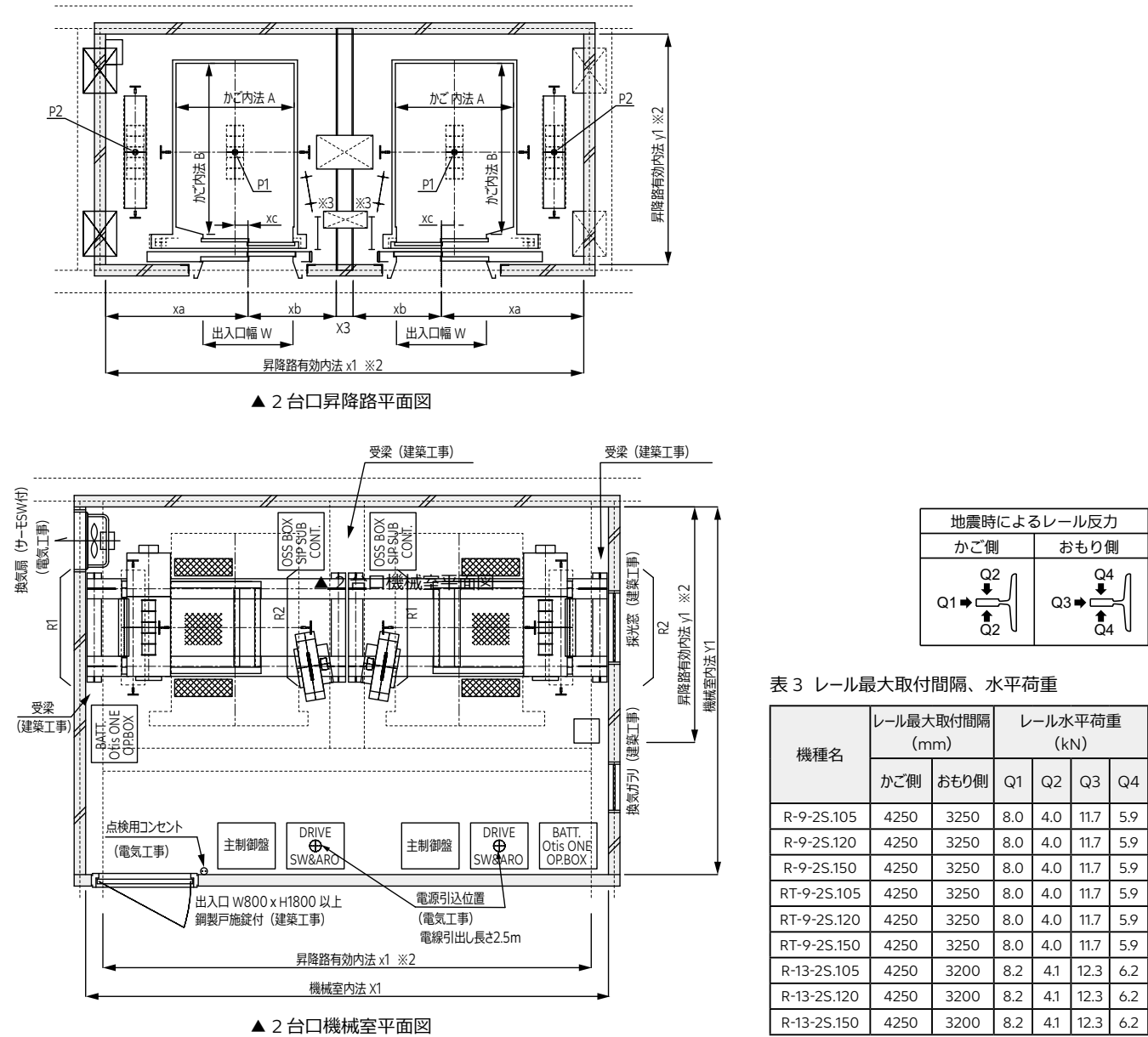
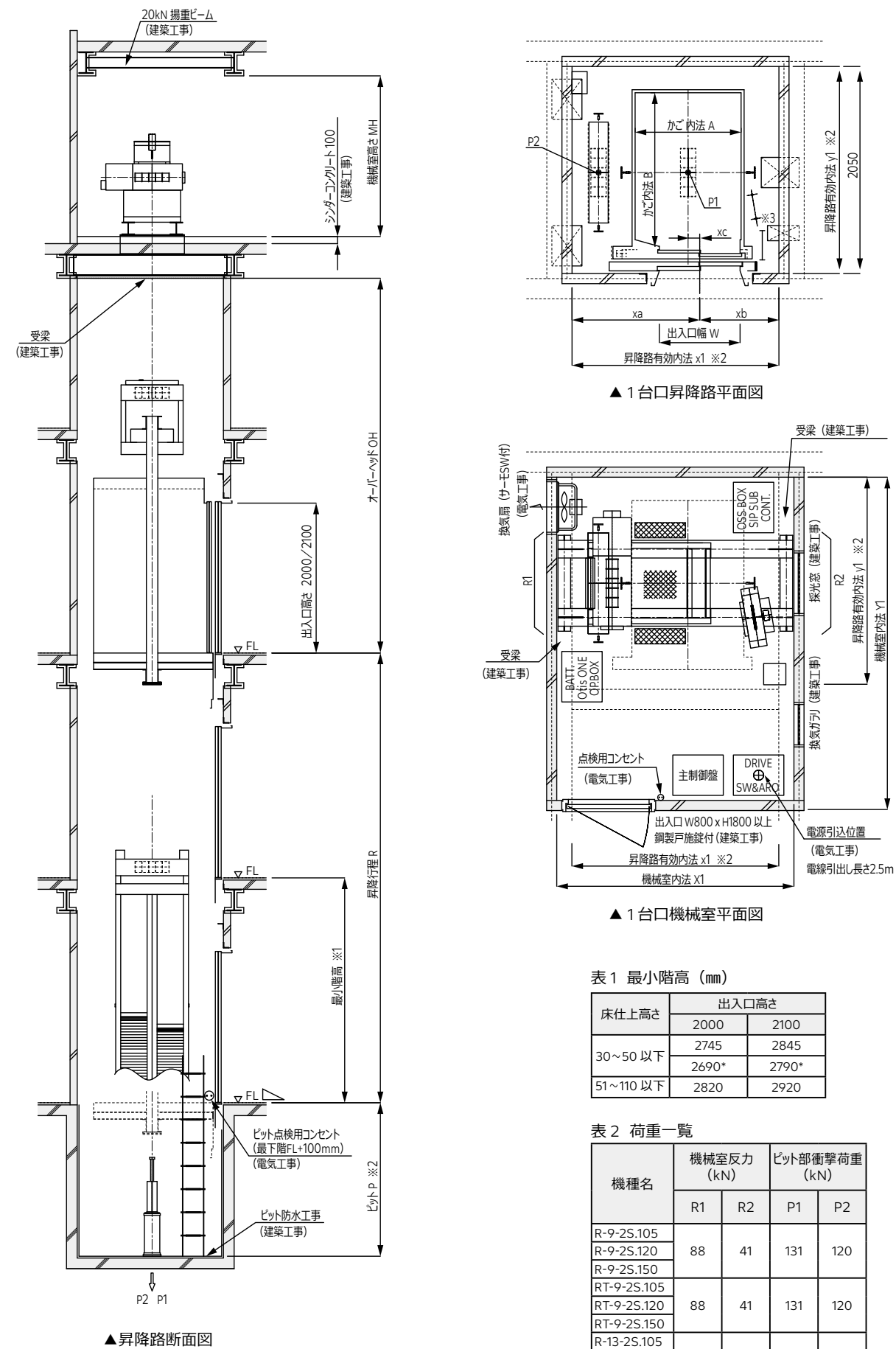


表4 寸法一覧

定員 (人)	積載 量 (kg)	速度 (m/min)	機種名	かご内法 A × B (mm)	出入口 幅 w (mm)	1 台口 (mm)		2 台口 (mm)		中間 ビーム (mm)	出入口芯 (mm)			オーバ- ヘッド OH (mm)	ビット ※ 2 P (mm)	機械 室 高さ MH (mm)	最大昇降 工程 (m)
						昇降路内法 ※2 x 1 × y 1	機械室内法 X1 × Y1	昇降路内法 ※2 x 2 × y 2	機械室内法 X2 × Y2		x3	xa	xb				
9	600	105	R-9-2S.105	1050 × 1520	800	2050 × 2050	2350 × 3200	4250 × 2050	4550 × 3200		1265	785	115	5000	2150		
		120	R-9-2S.120											5000	2150		
		150	R-9-2S.150											5200	2450		
9 (トナリ付)	600	105	RT-9-2S.105	1050 × 1520 (950 × 480)	800	2050 × 2500	2350 × 3200	4250 × 2500	4550 × 3200	150	1265	785	115	5000	2150	2250	150
		120	RT-9-2S.120											5000	2150		
		150	RT-9-2S.150											5000	2150		
13	850	105	R-13-2S.105	1050 × 2000	800	2050 × 2500	2350 × 3350	4250 × 2500	4550 × 3350		1265	785	115	5000	2150		
		120	R-13-2S.120											5000	2150		
		150	R-13-2S.150											5200	2450		

※1 最小階高は表1で確認してください。*はスペシャルブラケット使用の場合です。(有償付加仕様)

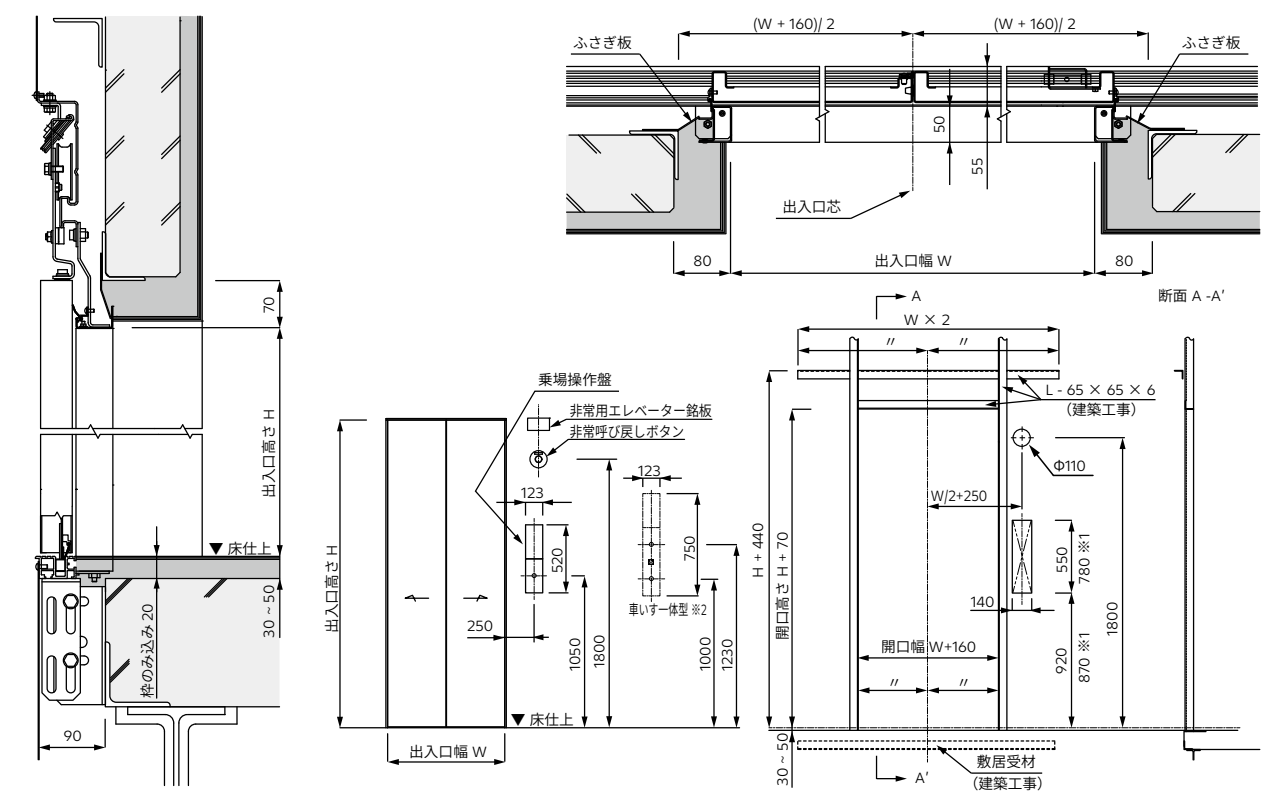
※2 昇降路有効内法はビット防水工事後の有効寸法です。

※3 ガバナロープガイド横保護線用フラスナーは、昇降路全高(ビット + 昇降行程 + オーバーヘッド)が10m以上の場合に必要です。必要個数は昇降路全高 ÷ 19.5 (切上げ) です。

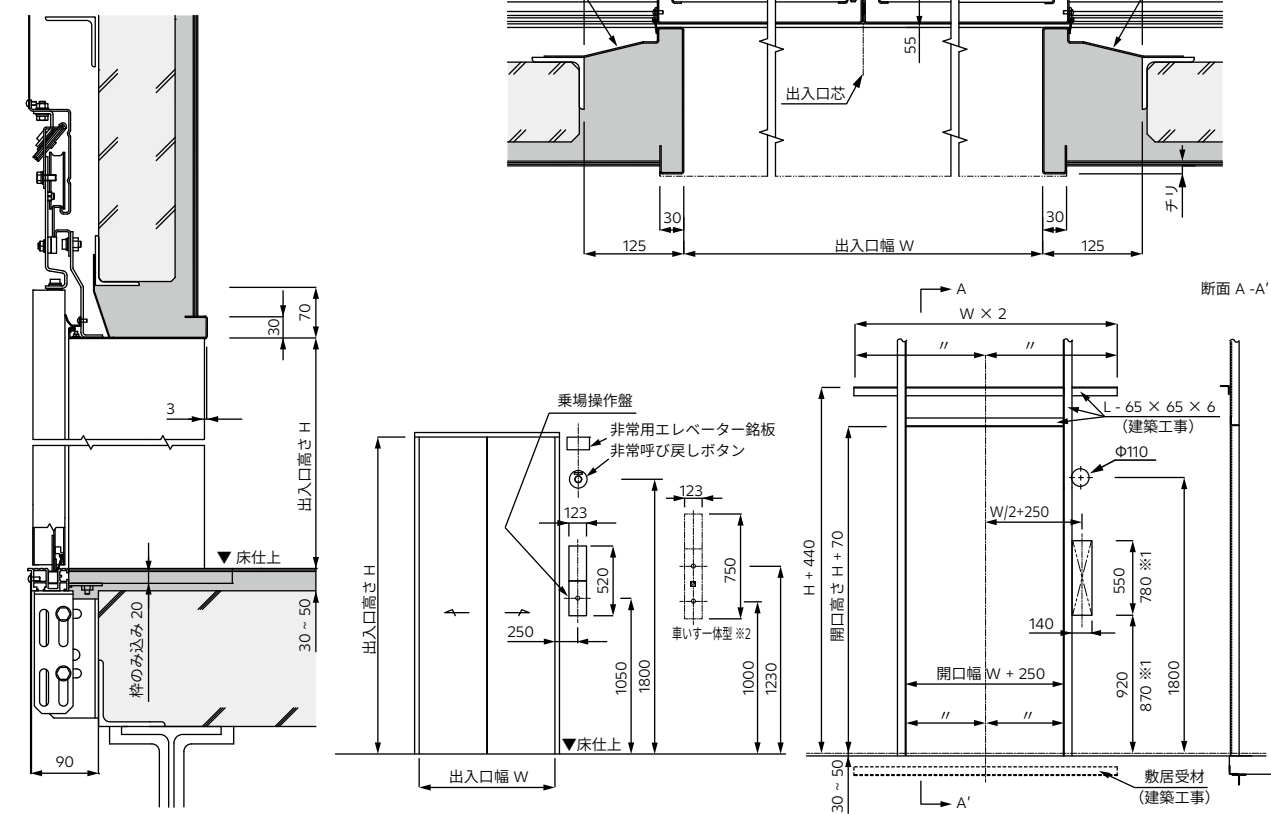
- ・フラスナープレートはすべてt 16以上の鋼板としてください。(鉄骨のスプライスプレートが干渉しない様にご注意ください)
- ・最大レール取付間隔を超える場合には、立柱の設置が必要となり昇降路寸法が広がる場合があります。(建築工事)
- ・仕様によっては数値が変更になる場合があります。詳細は別途ご相談ください。
- ・RC構造の場合には、普通コンクリート構造 FC21 (N / mm²) 以上、壁厚は150mm以上としてください。左記以外の場合は別途ご相談ください。
- ・建物鉄骨構造またはPC構造の場合は別途ご相談ください。

乗場詳細図 乗用／非常用

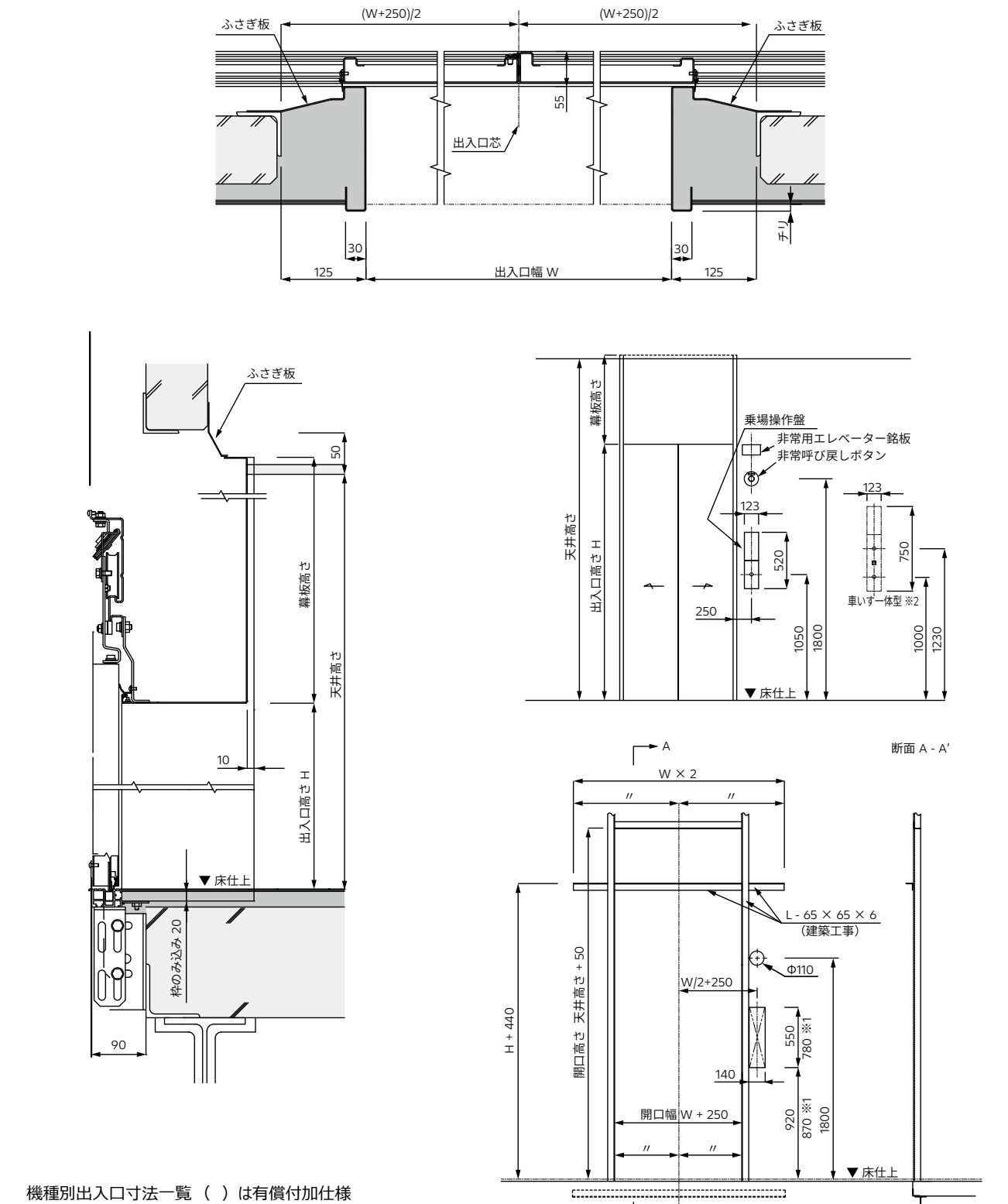
■小枠



■大枠



■大枠幕板付



機種別出入口寸法一覧 () は有償付加仕様

機種	出入口幅 W (mm)	出入口高さ H (mm)
P-11	800 (900)	2100 (2300)
P-13、P-15	900 (1000)	
P-15、P-17、P-20	1000	
P-20、P-24、P-26、P-27	1100	

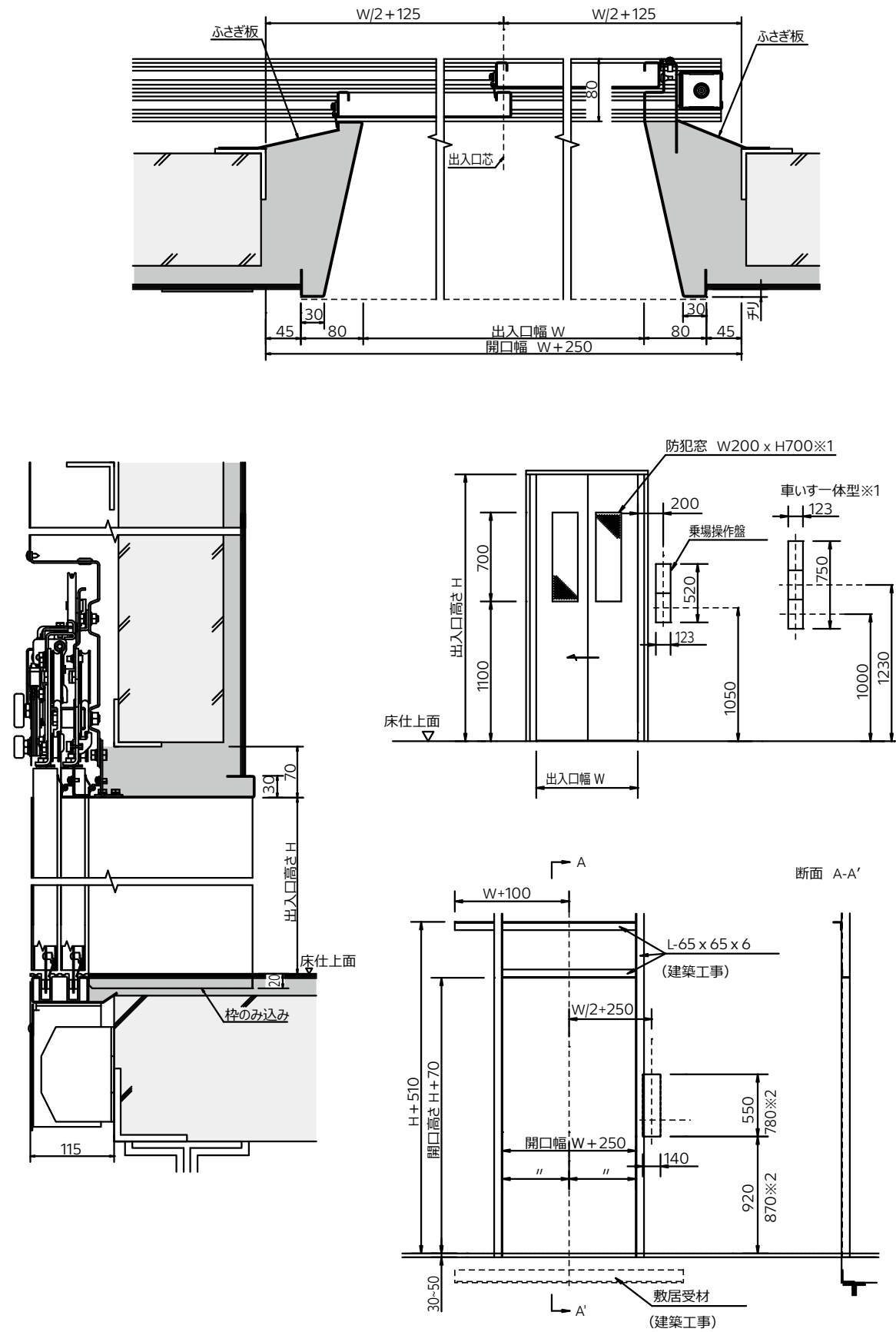
建物躯体 (建築工事)

壁および床仕上 (建築工事)

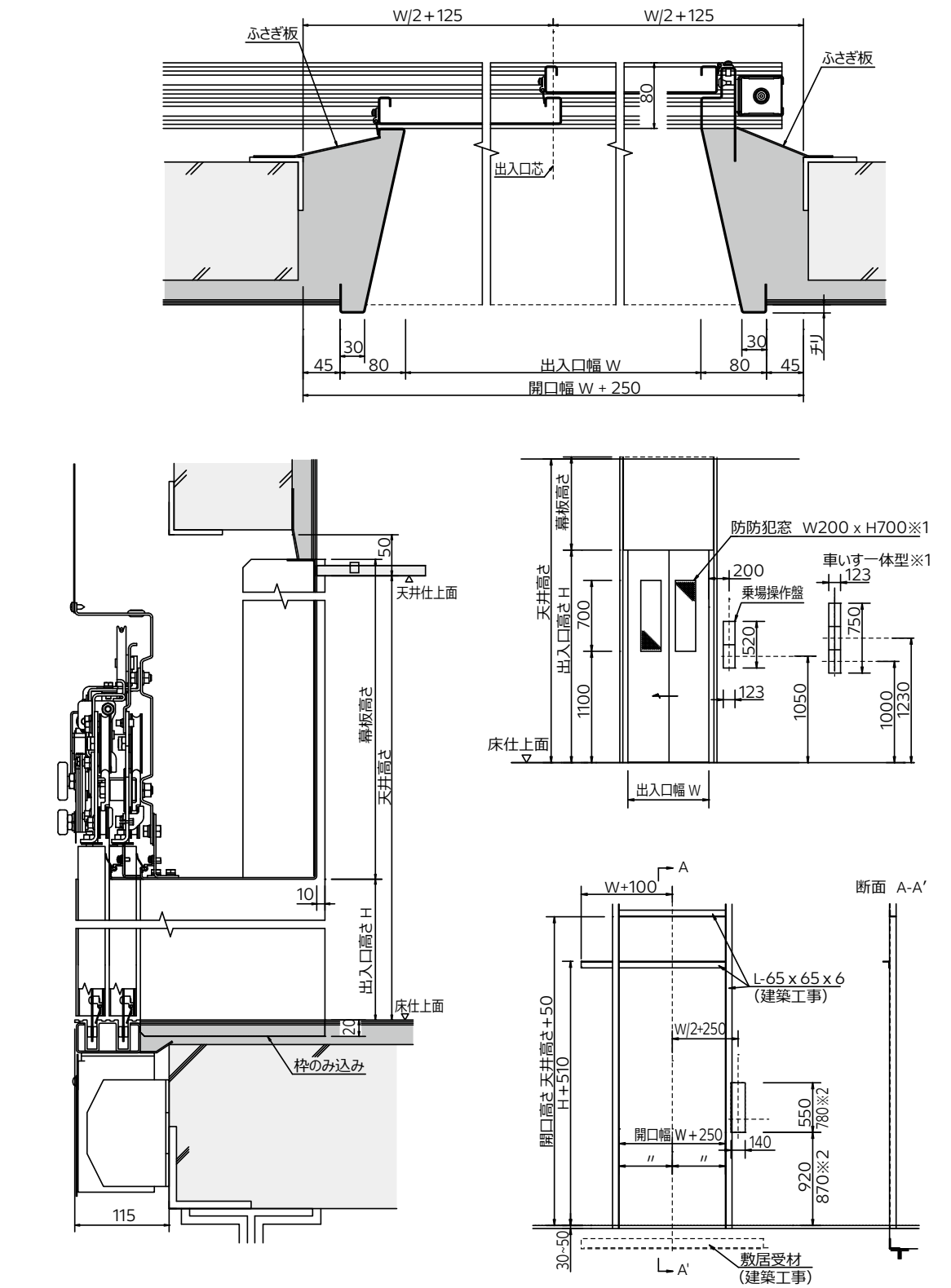
※1 乗場操作盤が車いす一体型の場合の寸法です。
※2 有償付加仕様です。

乗場詳細図 住宅用

■大枠



■大枠幕板付



機種別出入口寸法一覧

機種	出入口幅 W (mm)	出入口高さ H (mm)
R-9、RT-9、R-13	800	2000、2100

※1 有償付加仕様です。
※2 乗場操作盤が車いす一体型の場合の寸法です。

建物躯体 (建築工事)
壁および床仕上 (建築工事)

ネットワーク一覧

日本オーチス・エレベータ株式会社

本社：東京都中央区新川二丁目27番1号 東京住友ツインビルディング東館

東日本支社

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目27番1号
東京住友ツインビルディング東館
・新設営業部 TEL.03-6222-9340

■北海道支店

〒060-0003 札幌市中央区北3条西一丁目1番1号
札幌ブリックキューブ
TEL.011-222-4411

■東北支店

〒980-0811 仙台市青葉区一番町一丁目2番25号
仙台NSビル
TEL.022-225-5721

・盛岡営業所 TEL.019-654-7567

■関東支店

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-9
ニッセイ大宮桜木町ビル
・営業部 TEL.048-643-0286

・北関東営業所 TEL.048-652-8322
・東関東営業所 TEL.043-224-9311
・舞浜営業所 TEL.047-382-8319

■首都圏支店

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目27番1号
東京住友ツインビルディング東館
・保守営業部 TEL.03-6222-9525
・改修営業部 TEL.03-6222-9575

・東京中央営業所 TEL.03-3639-7321
・城東営業所 TEL.03-6806-5523
・港営業所 TEL.03-6435-5403
・城南営業所 TEL.03-3443-3181
・城北営業所 TEL.03-5982-8591
・西東京営業所 TEL.042-316-8826
・城西営業所 TEL.03-5456-1561

■神奈川支店

〒231-0001 横浜市中区新港2丁目2番1号
横浜ワールドポーターズ
・営業部 TEL.045-681-1890

・横浜営業所 TEL.045-663-1818
・川崎営業所 TEL.044-222-5873
・相模営業所 TEL.046-263-2431

■静岡支店

〒420-0034 静岡市葵区常盤町二丁目13番1号
住友生命静岡常盤町ビル
TEL.054-254-9501

■北信越支店

〒920-8203 石川県金沢市鞍月五丁目181番地
AUBEビル
TEL.076-238-7977

・信越営業所 TEL.025-243-5018

西日本支社

〒540-0001 大阪市中央区城見二丁目2番22号
マルイトOBPビル
・営業部 TEL.06-6949-1221

■中部支店

〒461-0001 名古屋市中区泉一丁目23番30号
名古屋パナソニックビル
TEL.052-951-1450

・中部第一営業所 TEL.052-951-1520
・中部第二営業所 TEL.052-951-1520

■京都支店

〒601-8121 京都市南区上鳥羽大物町28
シグマビル
TEL.075-748-8500

・京都営業所 TEL.075-748-8625

■近畿支店

〒540-0001 大阪市中央区城見二丁目2番22号
マルイトOBPビル
・保守営業部 TEL.06-6949-1271
・改修営業部 TEL.06-6949-1271

・大阪中央営業所 TEL.06-6444-5846
・大阪北営業所 TEL.06-6338-3750
・梅田営業所 TEL.06-6359-8885
・御堂筋営業所 TEL.06-6201-4612
・阪和営業所 TEL.0722-22-9036

■神戸支店

〒650-0034 神戸市中央区京町78番地
三宮京町ビル
TEL.078-391-4502

・神戸営業所 TEL.078-391-4502
・阪神営業所 TEL.0798-64-6311

■四国支店

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目6番1号
両備高松ビル
TEL.087-822-2865

■中国支店

〒732-0827 広島市南区稲荷町4番1号
広島稲荷町NKビル
TEL.082-263-7111

・広島営業所 TEL.082-263-6700

■九州支店

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南一丁目2番13号
福岡パナソニックビル
TEL.092-481-0931

・福岡営業所 TEL.092-481-0931
・西九州営業所 TEL.094-248-1700
・東九州営業所 TEL.093-541-1808
・沖縄営業所 TEL.098-878-3267

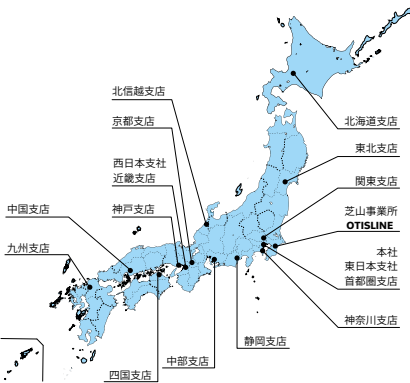
全国出張所／分室一覧

小樽・室蘭・苫小牧・函館・稚内・旭川・北見・
釧路・帯広・山形・庄内・郡山・いわき・
会津・秋田・八戸・弘前・長岡・上越・湯沢・
埼玉東・埼玉西・宇都宮・今市・前橋・
茨城・成田・成田空港・船橋・柏・木更津・
臨海・六本木・千住・亀戸・蒲田・初台・
板橋・泉岳寺・八王子・長野・松本・諏訪・
飯田・甲府・横須賀・溝の口・西湘・静岡西部・
静岡中央・静岡東部・浜岡・下田・名駅・
岐阜飛騨・豊田・豊橋・知多・鳥羽・三重・
四日市・福知山・田辺・京滋・湖東・千里・
京阪・枚方・OBP・南・東大阪・泉南・和歌山・
河内長野・明石・姫路・三田・和田山・富山・
小松・福井・松山・新居浜・高知・徳島・松江・
米子・鳥取・下関・山口・岡山・津山・
福山・長崎・佐世保・大分・熊本・鹿児島・宮崎

(2026年3月)

サービスは、**24** 時間体制
全国共通のフリーダイヤルで

サービスは
24時間 365日
0120-324365



日本オーチス・エレベータ株式会社について

日本オーチス・エレベータ株式会社は、オーチス・ワールドワイド・コーポレーションの日本法人です。オーチスは、より高く、より速く、よりスマートな世界で、人々がつながり、豊かになる自由を提供します。オーチスは、エレベーターとエスカレーターの製造、据付、保守、改修を行う世界的リーディングカンパニーです。世界中で業界最多となる約250万台のエレベーターとエスカレーターをメンテナンスし、毎日25億人がオーチスの製品を利用しています。世界各地の代表的な建築物に加え、居住・商業施設や交通施設など、「人の移動」に関わる様々な場所にオーチスの製品は設置されています。米国コネチカット州に本社を置き、約4.5万人のフィールドプロフェッショナルを含む7.2万人の社員を通じて、200を超える国と地域のお客様と利用者様の多様なニーズに応える製品を製造、据付、保守することに尽力しています。詳しくは、www.otis.com/ja/jp/をご参照ください。また、InstagramとYouTubeで日本オーチスをフォローしてください。